京城日報

明治三十九年八月十日第三種郵便物認可

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金九拾錢 前金壹圓廿五錢 ▲六ヶ月同七圓六拾錢 郵稅別 一ヶ月一割増
廣告料金 五號活字一行一圓六十錢 ▲同特別二圓六十錢 ▲二號七字詰同二圓六十錢 ▲同二號六字詰 ▲一號九字詰金一圓三十錢
發行兼編輯人 奥田由之助 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話番號長六千九番 長六千九番二 (振替京城三〇〇)

京城日報

所謂思想問題(中)

此の歐州に瀰漫せる惡氣流が大西洋を踰ねて米國の空に低迷するはいふまでもなく、更に太平洋を越つて東洋の天地に影響を及ぼすことは、蓋し免くべからざる勢である。更に一方西伯利亞を經て、露國より直接に襲來する低氣壓の存するあり、我邦は殆ど挾擊の窮境に立て居る。是れ一兩年來思想問題なるものが、識者の間に頻りに論議せらるゝ樣になつた所以である。但し思想問題といへば、其範圍甚だ廣汎で、之れを論ずる人の立場に依て、或は政治的に、或は經濟的に、或は社會的に、或は純精神的に、各種の方面に亘つて居るのであるが、所謂時代思潮とか、新思想とか唱へられるものは、要するに歐米に賑る(吾等が認めて惡氣流とする)それを中心とするものであるとは吾等がこゝに冗語を費すまでもあるまい。蓋し何れの邦、何れの時に於いても、世界の大勢とか新思想とかいふものに對し、無條件に、無批判的に之れを承認し、之れに迎合せんとする輕躁浮佻の徒が乏しくないものであつて『世界の文化的大勢たる人類解放の新氣運に協調する』とか『世界の大勢は逆行する固陋なる思想を撲滅する』とかいへば、一廉の新思想家であり、時代の先導者であるかの樣に自惚れ、自己の趣味、自己の尺度に合ない思想をば盡く『陳腐』の一語で之を斥ける。其大膽さ加減、實に驚くの外ないが、識者より之を見れば、彼等はたまく其低級頭腦を表示するもので、寧ろ憫むべき一種の痴呆漢といはねばならぬ。譬へば祖先傳來の一個の珍寶あり、其の美術的價値が眞に世界に誇るに足るべきものなるを顧みず、蒼古遒勁の趣致沈鬱幽邃の雅味を『古し』と斥け之を敝履の如く棄て去り、之に代ふるに單に『新し』といふだけで、美術上半錢の價値もない、淺薄な下劣な石版畫を、床間に懸けて、之が世界大勢の推化である。新思想の表現であると喜んで居る厄介な手合が、遂々として其處に動いて居るとはたとひ世の中の常態とはいへ、それが又學者とか論客とかいふ名稱を受けて、より以下の階級者間に持囃されるには呆れざるを得ない。凡そ眞理はそれ自體に於いて無限の價値を有するもので『新し』とか『世界の大勢』とかいふ附加條件に依つて始めて價値を生ずるものでない。又古くして見慣れ聞き慣れ、人の耳目に珍奇を感ぜざる樣になつたとて、少しも其の價値を減ずるものでない。思想問題に就いて之をいへば、千百年來一般國民を支配したる思想、即ち其國の國民性を形造つた根本思想は、日常米飯の如く、毫しも珍奇の味を感ずることはないが、そこに深奧なる理由の存在するもので、好し少しくらゐの缺陷があるとしても、是れ白璧の微瑕で、斷じて世道人心を害するには至らない。之に反して所謂新思想、世界の大勢なるものゝ中には、隨分謬迷を含むことが多く、ベーコンの所謂『迷想を破る新迷想は、更に大なる謬迷を含むことあり』で、古來の哲人が之れに反抗して、眞理の犧牲となつた者が少くない。ソクラテスの毒杯を仰いだのも其のため、孔子の道路に窮死したのも其ためである。吾等は如何に存ふるも世界の大勢なるが故に、又新しき思想なるが故にといふ前提より、無條件に之を受け入れ、之に迎合するが社會の最大利益なりといふを得ることができぬ。否、かゝる無批判的なる態度は、文明民として、特に日本帝國の臣民として甚だ恥づべきことであると考ふるものである。公私大學の教授で、例の新しがり屋を氣取り、刑辟に觸れた馬鹿者もあり、又『改造』とか『解放』とか『我等』とか、所謂新思想の標語、標題とする雜誌を發行し、先導者を氣取つて居るものもある。それも各人の勝手で、吾等の關係する所でないが、それを一廉の有難き神符とも心得、自ら求めて邪路に迷ひ入る低級頭腦者の之に附隨するものあるに至つては、誠に以て氣の毒千萬といはなければならぬ。

違反國の制裁
經濟的封鎖を決行

國際聯盟總會に於ける調査委員會は七日一般會議を開くべく委員會の報告は七日に完了したるが該報告には

一、加盟國の規約に違反せる場合直ちに有効なる經濟的封鎖をなす事

二、聯盟書記官が斯かる違反國を發見したる場合は理事會に對し規約違反の罪あるを警告し必要に應じ各聯盟國に通告を發する事

三、加盟國が聯盟規約の破棄せらるゝを認めたる時は直ちに規約第十六條によりて適當なる手段を講ずる事

即ち斯かる國家に對しては外交通報其他總ての關係の斷絶を決行する事等を揭載せり(ゼネバ五日發電)

波瀾を捲起した
規約修正問題落着す

亞爾然丁の提出したる國際聯盟規約修正案に對し本日國際聯盟總會は全會員一致を以て之を特別委員會に附託し來期の總會迄に之を研究せしむる事とせるが殊に強硬なる態度をとりたる南米諸國及び加奈陀代表は其主張を必ずしも今期の總會にて貫徹せざるも可なりと讓步し一時波瀾を惹起せんとしたる本問題も最早何等の經緯もなく無事解決の形勢となり一先づ落着を見たり蓋し亞爾然丁の總會脫退問題は米國上院を喜ばせ亞爾然丁は我が味方なりと自惚れたる獨逸を結局狼狽に終らしめたるものなり(ゼネバ六日發電)

東部西伯利の土著民族(八)
帝國大學講師 鳥居龍藏氏

何故かと云ふと然ういふ專門的のものを習ふのであるから學者になるといふなら合點もされるが餘り學者にはなりさうにも無い男の子や女の子が習ふて居るからだ。而して此の學校で教授されて滿洲語が出來るやうになると呼倫貝爾改隱に派遣されるのであるが是等を見ると露西亞の總ての行り方が如何に雄大であるか、頷はれると私は感じた。尚私が甚だ面白いと思ふのは嫩江の流域にダウンが居り海拉爾にソロンが居るといふことである。此のソロンは康熙年間に結ばれたるネルチンスク條約及成豐八年に結ばれたる愛琿條約等の前に大に露人と戰つて大勝した兵である。其處で露西亞を制するには海拉爾は甚だ大切な地點であると同時に將來問題の起るのも亦此海拉爾であると思ふ。

次はアムール一帶に居る土人であるが前に謂つた如く單にアムールと云ふても滿洲の松花江及び嫩江も是れに包含されるのである。殊に松花江などは現今は山東省の支那人に依つて制せられて居るけれども昔は矢張り西伯利と同じやうな人種が居つた、而も極く最近迄も居つたのである。古い歴史から見ても肅愼とか靺鞨とかいふ風の人間は皆此の邊に居つたのであつて間島豆滿附近のものと同じ人種である。故に今日アムールに居る土人は古く昔から朝鮮及滿洲に居つた民族と同じものである。即ち是等の者は朝鮮人及滿洲人或は支那人が段々發展して是を逐拂つて終つたといふ關係よりして漸次居なくなつたのであるが今謂つた如く原は同じ民族であつた。

然らば現今は何處に居るかと云ふとインゴダ河とオノン河の流域にはズリヤート化した者が居る。此の流域のスレーテンスクといふ所は大變好い所であつて蒸汽船などが發着する。此の街の北部は役人の街であるが此所は露國人の街である。此所へは私が往く前に大阪毎日の本山社長と大庭柯公君なども往つたことがあるが其の當時と今日とでは話を聞いて見ると格別變つて居ない。演劇の相當盛んな所で日曜日の夜などは素人芝居などを演る。私が往つた時にはトルストイの『生ける屍』などが上演されて居た。元來露國人は極めて呑氣で戰爭があらうがボルシエヴイキーが來やうが一向關はないで芝居や音樂を演つて居る此のスレーテンスクには土人は居らぬが石器時代の遺物はある此のスレーテンスクを河に沿ふて段々下つて往くと今謂つた海拉爾であるが此の邊にオロヨテンが居る。彼等は矢張り馴鹿牧畜して居る人種であつて此の附近の森林を〻と這入り込んで居る。

廣東撤兵罷りならぬ

王督軍は廣東商務總會其他各團體の軍隊撤退要求に對し若し之れを促さんとせば軍費二百萬元を要するを以て目下之を實行し難し但し目下極力警戒しつゝあれば再び宜昌の二の舞を演ぜしめずと聲明せり(漢口七日發電)

帝國政府拒絶せん
尼港事件協同判定の修正

尼港支那軍艦砲擊事件に關し支那外交部は最近に至り共同判定の修正を申込みたるがこれ支那砲艦長等の行動を否認し以て陳謝を免れんとする魂膽に出でたるものにして我公使は之に對し既に兩國委員の調印を經たるものを今更變更す能はずとの理由により此不條理なる要求を拒絶すべし(北京八日電報)

間島の警察權
之れが解決する迄は必要の兵力を駐める

間島撤兵は昨報の如く決定せるも政府にては尚ほ居留民保護治安維持等の必要より約一箇大隊を會寧琿春に留むべく之即ち日支兩國間に吉會鐵道敷設間島に於ける警察權問題及び有事の際の出兵問題等の尚ほ交渉中なるを示すものなり殊に其の內警察權問題は直接我が居留民の生存に係る重大問題なるより北京にて之が圓滿に交渉解決する迄は駐兵することゝ決定せる由(東京特電)

山東問題は次期の總會に提出する
支那代表の正式聲明

ゼネバに在る支那代表顧維鈞氏は山東問題を今次聯盟總會に提出する事を見合せ次期の總會に提出討論すべき旨の聲明書を聯盟總會秘書廳に送附したりと(上海電報)

齊多赤化の徵
紙幣に現る

齊多の市場には目下勞農政府紙幣並に極東共和國紙幣流通しあるは是れ過激派政府の勢力が漸く齊多をも威壓せるもの證明せるものなり

勞働長屋
(三) 調査の結果
山名善來

位置構造及び建築費(下)
居住者

溫突一室及び板間半室を以て一戶とせば一棟に四戶を收容し得べく總戶數八十戶を容るゝに足るも其一戶にて溫突二室乃至三室を借家せるものあるが爲實際は七十五戶を居住せしめつゝあり即ち左の如し

	戶數	家賃
溫突一室及板間半室のもの	七一戶	三、五〇
同上二室及板間一室のもの	三戶	七、〇〇
同上三室及板間一室のもの	一戶	一〇、〇〇
計	七五戶	

但一戶三圓五十錢のもの[illegible]住者は七十四戶なりしを以て[illegible]は大正九年十一月より左の如く値下せり

從來の家賃	值下後の家賃
三圓五十錢	三圓
七圓	六圓
十圓	八圓五十錢

家賃の支拂は成るべく前拂を以てせるが甚しき難も居住者の收入關係は必ずしも一定せざるが如し而して家賃の割合は從來一室に付き七十八錢の遞今回之を減額して六十七錢と爲せるも其の設備に比し尙ほ高價なるが如し家主は過去一年間に於て一ヶ月三百六十圓宛の家賃を收入し一ヶ年四千三百二十圓を領置せることを推算し得べきが故に建築費の約全部は最早完全に回收し得たるものと認める

又居住者七十四戶中內地人、朝鮮人及支那人別に依り借家の狀況を以て之を區分すれば如左

	內地人	朝鮮人	支那人
家賃三圓五十錢のもの	…戶	六九戶	一戶
同七圓のもの	一戶	二戶	……
同十圓のもの	…戶	一戶	……

即ち內地人は一戶朝鮮人は七十二戶支那人は一戶にして是等居住者中朝鮮人のみに付其の出身道別を調査したるに京城府內の者最も多く總數二十八戶にして之に次ぐは京畿道管內の者にして二十二戶を數ふ尙其の道別表を揭ぐべし

京城府	二八戶	京畿道	二二戶
忠清北道	三戶	忠清南道	四戶
全羅南道	一戶	慶尙北道	一戶
慶尙南道	二戶	黃海道	四戶
平安南道	一戶	江原道	二戶
咸鏡北道	一戶	不在の爲不明	三戶

全北、平北、咸南は一名もなし

評林
旭塢子

居不安
苛稅課家屋。市民居不安。繁昌竟尤拙。移住衆同歎。

絕匪氣
以文結僚友。冠笏玉堂中。滑稽絕匪氣。容與君子風。

道徒徹
妖言入人易。擧世道徒徹。頑冥若不起。黎元無所歸。

遊已終
楓院十旬滯。御光遊已終。扶桑之治化。精察皐胸中。

入雞林
法華僧日主。飛錫入雞林。獅吼佈壇上。覺醒凡俗心。

罪凶器
兇民韓漢關。白鐵罪凶器。殉巡査。一旬兮一死。

最新刊
鮮滿風物記 沼波瓊音 二、五三
大正十年毎日年鑑 一、一〇
日本語法 谷垣勝藏 三、〇八
アメリカ生活 川口義久 三、三〇
蒼白き巣窟 室生犀星 二、二〇
硫化染料製造法 西田博太郎 四、〇八
教育上の自由思想 田制佐重 四、九九
中學教授 田中敬 二、七五
滿鮮遊記 大町桂月 二、五三
大阪屋號 京城本町一丁目

京日記者 加藤灌覺著
朝鮮の奇談と傳說
四六版美本 價一圓五十錢 送料八錢
史談 神話 古譚 怪談 情話 笑話 奇談 其他
京城本町 ウツボヤ書店 電話番號二三一七 振替京城二貳一番

御得意樣に急告
弊店儀毎度御引立に預り厚く御禮申上候來者各位樣より注文日々殺到し仕立期間に合ひ兼ね候間甚だ御氣の毒に候へ共本年中の御注文は御斷り申候既に御注文濟の御方樣には多少延引致すべくやも計り存候に付此段紙上にて御諒承申上候也
東京市神田區松永町廿五 堀洋服店

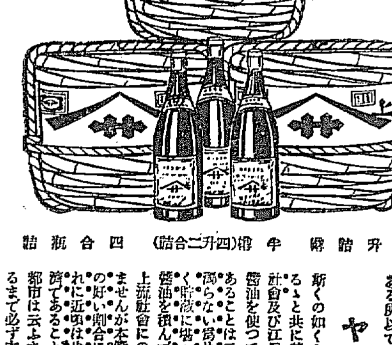
御請求次第速に送呈
緊綴式帳簿目錄
緊綴式とは舊稱洋式帳簿の謂にして現在品四拾餘種ありて其罫線樣式は收めて目錄にあり又事務用文房具の種類の多き事東京第一其目錄は日ならず出來ます豫め今より御申越あるべし
東京銀座 伊東屋 電話京橋長 七三三番 七三四番 八六四番 一九二番 振替東京 五一二番

創始 東洋第一 東京自動車學校
◎收入多大ノ自動車界ニ來レ
入學每月一日及十六日 二ヶ月卒業 一ヶ月卒業アリ 何レモ卒業迄ノ全費金百卅二圓前納 學則送呈
於朝鮮分校 京城黃金町三丁目 京城自動車講習所 釜山府榮町一丁目 釜山自動車講習所
今日自動車ノ政府ニ伴フ運轉手技師ノ不足甚シ本校ハ大阪福岡朝鮮ニ校ヲ有シ全鮮ニ於テ甲種運轉手ヲ養成シ同志ヲ望ム一般ノ收入ト地位ヲ記載セル美本學則ヲ送與ス 東京市京橋區

御贈答用 歳末年始
香銘 もろかづら 筆銘 にはつ鳥 墨銘 光華
包紙ノ圖ハ鶴齋、栖鳳、虛舟、三畫伯ノ畫筆ナリ
香筆墨三種組合 桐箱入 壹圓五十錢 內地送料拾貳錢
京都寺町 熊谷鳩居堂 振替大阪六三八 電話上一一〇

專賣特許 新案特許
世界一の報德式籾摺機械
◎本機は弊所主の發明にして十年苦心の結果完成せしものにして籾摺機械の他に及ぶものなきを斷言して憚らず
○本機は足踏同轉にして婦女子供一人にて使用安樂一日の摺高六十表は容易なり
○本機は農家の永代道具とし製作したるが故に機械堅牢永久の使用に堪ふる全國農家が多年渇望せる良品也(特許出願中)
尚弊所には世界一の製繩機及稻麥扱機も完成致し居候
大阪市南堀江日吉橋北 報德製作所

宮內省御用達
品質の良いこと日本一
ヤマサ醬油



九升詰 樽 半樽(四升二合詰) 四合瓶詰

美味くてキキが良い!
◆さしみ漬物にカケて甘く
◆汁物に用ひて風味よく
◆煮物に使つて德用なり

ヤマサ醬油の特徵
醸造地銚子地方は本土の東端に位し太平洋上に突出してゐるため冬季は親潮の北流に依りて暖く夏季は親潮のため涼しく四季氣候の變化が少いので溫度も比較的平均で醱酵の調節には最も都合が好いのですそのうへ海と地勢との關係で空氣が甚だしく濕潤してゐるために香氣の發散を防ぎ醸造地として斯くの如く好適の條件は何處を搜しても又と無いのであります銚子が僻地であるにも拘はらず古來より醸造地として發展したのは此の爲であります就中ヤマサ醬油は此の得難き氣候を利用して三百年來實地の經驗に則り原料を精選すると共に最新の學理をも應用し鋭意熱心に優良純良なる醬油の醸造を圖りてゐるのでありますヤマサ醬油が滋養と風味に於て他に卓越し獨特の芳香と色澤を有すると共に永く貯藏しても味の變ることがないのは此の爲で普く世間から多大の賞讚を受けつゝある所以であります

ヤマサ醬油の販路
斯くの如くヤマサ醬油は其品質の優れてゐるとを認めらるゝと共に其の販路も極めて廣く殊に東京に於ける上流社會及び江戶趣味の人や味覺の發達したお方は何れも本醬油を使つて下さるのでありますそして其味の好い爲であることは云ふまでもなくおつゆなどを拵へても決して濁らない爲めに上等の料理屋では必ず本醬油を用ひ又永く貯藏に堪へるので軍艦なども遠洋航海の際には屹度本醬油を積んで行くのであります恁う申上げると本醬油は上流社會にのみ用ひらるゝ高い品の樣に思召すかも知れませんが本醬油は薄利多賣を主義として居りますので品の好い割合に値段も廉く何處の店でも賣つて居りますそれに近頃は少し位値段が高くても好い醬油を使ふ方が經濟であることが分つて來ましたので內地に於ける著名な都市は云ふまでもなく北海道、樺太、臺灣、朝鮮、支那に至るまで必ず本醬油が行き渡つて居ります
そして我國の醬油を初めて海外に輸出し外國人に嗜好を喚起したのは本醬油が嚆矢でありますが只今では英米佛伊蘭西布哇及び南洋等へも相當に輸出して居ります

千葉縣銚子港 醸造元 濱口儀兵衛
東京市日本橋區小網町一丁目四 發賣所 東京出張所 電話浪花 特一六〇〇番 一六〇一番 振替口座 東京 四二三〇番
最寄店なき御地の方は東京出張所へ御申越を願ひます

◇各地の有名なる酒醬油店にて御買求を願ます◇

同源
第三號目次
●「同源」發行の趣旨
▲日鮮兩民族同源論梗概(讀み切三十八頁の大論文) 喜田貞吉
▲有史以前の日韓關係 東京帝大講師 鳥居龍藏
▲同本異末(下) 鮎貝房之進
▲江戶時代に於ける朝鮮信使の道中 瀬野馬熊
▲朝鮮信使の使用したる日本地圖 文學士 荻山秀雄
發行所 京城太平通一丁目 京城日報內 同源社
賣捌所 京城日報代理部、大阪屋號、ウツボ屋 日韓書房
◆本號定價金壹圓(郵送無料)

當社株式第一回株金拂込領收證紛失公告
西松殿名義當社株式第一回拂込金領收證五百拾株分拂込金額參百拾貳圓五拾錢也右紛失ノ旨屆出ニ付來ル大正拾年壹月八日迄故障申出無之時ハ無效トス
大正九年拾貳月八日 株式會社 京城株式現物取引市場

本社製品之光榮 總督府、各道、陸軍、滿鐵、朝鮮銀行、殖銀、其他ノ一般商者御採用之榮
セメント瓦
特許セメント瓦製造株式會社 京城明治町二丁目 長電話九三七番
年內製品 各地分工場共年內製品品薄 々豫約濟新規御註文ハ此際至急御註文ヲ乞フ

平元鐵道費削除
新規公債事業なる爲 大藏當局の反對

朝鮮總督府來年度豫算案は新規公債事業に就いて大藏當局の强硬なる反對ありたる爲め交涉は行き悩みつゝありしが最近に至り兩者の意見一致して茲に朝鮮豫算は大藏省の査定終りて大體決定したれば他の殖民地豫算と共に最近の閣議に於いて最後の決定を見るべきが其の內容は歳出總額一億六千餘萬圓にして昨年度の一億二千餘萬圓に比し四千餘万圓を增加したり最初總督府の提案は二億八百餘萬圓なりしが鮮鐵直營費三千七百萬圓を始め新規公債事業たる平元鐵道起工其の他鐵道改良費等約七百万圓を削減せられたるが如く又一般經費に於ても百餘萬圓計四千五百餘萬圓削減せられて結局總額一億六千餘萬圓となりたり新事業の主なるものは實事改創業及び經營の擴張普及に關する設施衛生施設等を主なるものとす又右公債事業は總額四千餘萬圓(內既定二千萬圓)ありたるも七百餘萬圓削減せられて新規公債事業は一千三百餘萬圓だけ要求を容れられたり此の一千三百萬圓の中七百五十萬圓が煙草專賣に伴ふ東亞煙草會社買收費にて殘る五百五十萬圓が鐵道改良費なり次に歳入方面は既定收入の外に地租附加稅を企て約三百萬圓の增收を計りたるも時節柄之は中央政府の容るゝ所とならざりしが補給金一千五百萬圓(內一千萬圓既定)公債三千三百餘萬圓(內既定二千萬圓)移入稅一年間据置約六百五十萬圓其他官業收入の增加竝鐵道納附金等にて收支の辻褄を合せ得るもの、如し(東京特電)

倫敦會議と日本
參加を要求=英首相反對

今回倫敦會議は獨逸に對する賠償問題に就て執るべき方針を審議すべく去る八月の英佛離執以來英佛首相が親しく接衝せる第一の機會なるを以て自ら重要たるを先はず聯合國が上部シレシヤに於て舉行さる、一般投票の如き一般問題を審議しつゝある際日本は右審議に參加せんことを要求せり右要請にして若し許容せらるれば最高會議は復活せらるゝことゝなるべきも英國首相ロイドジョーヂ氏は同案に反對したり特派員の聞く所に依ればゼネヴァに於ける日本委員は久しく論議されたる人種平等問題を更めて提起する爲め內輪の言論を開始したり該問題に對しては濠洲委員は其の問題が容れらるれば聯盟會議より脫退すべしと威嚇して是れに反對し同案を阻止したり英國首相ロイドジョーヂ氏はゼネヴァに於ける英國諸委員が聯結的方針を執り一般的問題に對し一致合同し居らざるを見て失望の色ありたり又ゼネヴァ會議に於けるアルメニア問題に就ては大なる注意を喚起するに至らず著しく進捗を見る模樣無し(東京電報)

愛蘭講和の意あり

愛蘭共和黨代表オブラバカン氏は首相ロイドジョーヂ氏に電報を發して閣下は直ちに吾等と講和することを希望し居らるゝが愛蘭も亦特に講和を希望す閣下は第一に如何なる方法に依り講和を締結せらるゝ意見なりやと陳べたり(ダブリン電報)

希臘內閣總辭職?

英佛伊の希臘に送れる通牒は希臘民衆をして遍く驚愕せしめたり蓋し國人は聯合國倫敦會議が希臘に對して如何に態度を決すべきかに就て何等要意する所なかりければなり希臘は右通牒を受取てより連日閣議を開きつゝあり內閣總辭職は避け難きと信ぜらる(倫敦發電)

王督軍の回答
宜昌事件の交涉に關して

宜昌事件に關し小幡公使が北京政府に交涉せることは既報の如くなるが同時に漢口駐在瀨川領事は王督軍に對し今回の責任は全然支那側に於て負ふべきものなり且つ在留邦人保護に關し要求する所あり追つて被害調査の上相當賠償金を請求すべしと通告したり右に就き王督軍は日本の趣旨を諒闘したるも事情不明の點あり部下に嚴重調査を行はしめ判決せんことを回答する所ありたりと(北京電報)

武市最近政情

武市に於いては高柳課長のクラスノシチヨコフに對する回答漸次民間に普及し來る可き市會の選擧に當り共產黨に對し反對せんとするの聲其度を加へつゝ

奉天財界近況

近來奉天に於ける金融界は依然[illegible]れども米價下落の爲將來の樂觀を許さず工業界は事業資金の缺乏[illegible]財界引續き不況の裡に在り今其[illegible]要品の商況を示せば左の如し

綿糸布
綿絲布界は大體[illegible]に在り殊に北支那側商の蹶一段不振を極め洋票好勢を呈せるも一向買氣を促進するに至らざる[illegible]既乃至二圓安を呈せり

麥粉
既に例年取引旺盛の時期に入りたるも財界の不況と[illegible]物現はれたる爲め當地も其の[illegible]波を被るならむと豫想せしも幸ひ在荷薄こ相當需要ありし爲め[illegible]上尙不振の狀態に在り

石油
日本品としては幸福[illegible]牌の輸入を見たるも其の數量は[illegible]

海產物
鹽乾魚類安の爲[illegible]鯡は金の先安を見越し買控の[illegible]商談捗々しからず[illegible]に十五萬餘斤にして前年同月に[illegible]中の奉天縣魚類到着數量を見るに[illegible]從つて減少せり試みに本年九月天津方面より多量の輸入ありしより相場下落し遂に取引不引合の狀態に在り

大豆高粱は以前支那北部を占め[illegible]めつゝあるも次第に南下して東移せんとする模樣あり氣配は西高東低の狀態にありて一般に[illegible]天にして硬砂なるべし

あり州內に於ても亦同樣の傾向ありとし之に對し新政府は如何なる態度に出づるや不明なるも軍部は之を蹴絡し之を撲滅するに全力を盡しつゝありと(浦汐經由ブラゴエ電報)

憲法議會準備

憲法議會召集準備の爲黑龍州選擧委員長は近く設置せらるべく委員長はヒ、デ、コシツイン氏に決定せるもの、如し(ブラゴエ電報)

王世子御參內
兩陛下に御對顏

李王世子殿下には八日午前十一時御參內兩陛下に御對顏遊ばされ竝に御機嫌御奉伺の後種々御物語りあり同十一時御退出相成りたり(東京特電)

地方制度と選擧權

內務省にては七日午前十時より參事官會議を開き地方制度の改正案に就き審議したるが府縣制竝に北海道會法の改正案は他日に保留し府縣制竝に市町村制の改正に付き當日具體的成案を得たりといふ兩案共其の內容は昨年既に省議を以て決定せるものと大差なく即ち府縣制に於ては選擧權を擴張し納稅資格を極度迄低下せんとするものにして市制と町村制に於ては例外を設くるの外階級選擧制を廢止し且選擧權は府縣制同樣に市町村に於ては府稅を負擔し三ケ年以上同一選擧區域內に住居を有する者に全部是を附與せんとするものなりと(東京電報)

東京市長
後藤男當選

後藤新平男は昨夜の東京市會市長候補者選擧會に於て全會一致にて市長に推選せらる、事になり本日東京市長第一候補者に當選せり(東京八日發急不通延著)

後藤男拒絕す

東京新市長に當選したる後藤男に對し八日東京市會代表者は男を其邸に訪問し就任されん事を乞ひたるに男は最も明瞭に之を拒絕せり男の決心は頗る强固にして其承諾を得る事は至難なるべしと觀察され居れり(東京特電)

銀行監督官
大藏省に新設

大藏省にては明年度豫算に銀行監督官を新設することに決定せるが這は銀行業者の取締に就き調査監督するものなるが、監督官(奏任官)五名、屬(判任)若干名なりと(東京特電)

セミヨノフ夫人か
釜山に上陸

セミヨノフ將軍參謀瀨尾榮太郎は八日朝高麗丸にて來釜停車場ホテルに滯在中なるが一行中の婦人は多分セ將軍の夫人ならむと察せらる、而し瀨尾氏は絕對に是れを打消し同將軍幕僚の夫人なりと謂ひ居れり(釜山電報)

京城商況
鮮銀調査

金融凡調 久しく持ち惱みたる滿洲粟は最近支那側商埠の逆輸出にて幾分漸減し綿絲布諸株又幾分上向歩調にていさゝか窮通の理法を早出したる向なきにあらざるも米價尙ほ益々先安を氣構へられ大手筋の出動なく一面殊に預金の引出しありたれば上半月は貸出預金共に著しく減退を示し月末に近づくに從ひ稍々ながら新穀資金の移動あると共に預金の引出し旺盛ぎ爲めに久しく九千五百萬圓臺を維持して仲々力更に振はざりし鮮發は稍仲力を回復し一億圓臺に墜せるも物價は概して軟調を辿り

商取引 は兎角委靡不振にて季節物の移入も一同引立たず確實なる形の出廻り薄く市內各銀行は概ね遊金を抱き運用に難んで居る姿にして金融方面は例年繁忙時期なるに不拘案外凡調を示せり

商品市況

米 出廻り薄を唱へられながら先安見越にて實需側の希望者僅少加之內地正米の漸落を移し氣配軟弱なる總紐し月末新物地揚玄二十圓二三十錢の商內あり目下納稅及び決濟期を控へ出廻り輻輳するに至れば尙ほ一段の下値出現避け難からん

粟 引續き支那側商地へ逆輸出あり滯貨減少せるに伴ない手持筋の買腰漸く强く相場は底堅き氣配を呈せるも月末に近づき商方面への輸出口は僅々要段一落の模樣あり商內閑散にて月末相場六圓七八十錢見當なり

大豆 內地相場の下押により買氣引立たず弗々新物の出廻りに連れ氣配軟弱を加へたるも手持筋は一般に賣惜み商內は閑散に經過せるが月末の唱へ値は長湍物十二圓見當なり

砂糖 外糖不振を傳へたるも當地筋相場には影響なくザー印三十六圓見當を保合たるが弗々需筋の望手あり月末には在荷薄を唱へられ氣配底堅き唱へなり

綿糸布 前月來の反騰に在荷漸く減少し商內引立ざるも下落りの姿にて一高一低の往來相場を呈したるが月末の唱へ値は金巾票三百十圓三エス三百十五圓見當なり繁忙時期なるに不拘案外凡を示し越月す

朱線を引れた平元線
其の延期は止むを得ぬ

平元線は交通產業國防等諸般の目地よりその建設を急施するの計畫を有する事は總督府當局に於て屢々聲明せし所にて現に大正九年度豫算に之を計上せしも歳計の關係上削除の運命に遭ひ平元兩地よりは東上運動を試みしも議會の解散によりその儘となれるが總督府にては大正十年度豫算に七年繼續事業として平元線敷設に要する費用約五千一百萬圓を計上しその初年度經費として五十餘萬圓を要求せしが大藏省にては平元線の敷設その物には異議なかるべきも公債發行により繼續的に五千萬圓以上(大正十一年度よりは加速度に增加すべし)を支辨せんとする計畫は財界今後の變革見込み容易に確立し難きと政府の公債政策より見て直ちに認容し難く結局電の如く延期の意味にて削除の運命に遭遇するは殆んど避け難きものゝ如く右に對し總督府鐵道部當局は頗る遺憾とし居れるも事情右の如しとせば止むを得ざる所なるべきか

總督演說
新聞通信社長を招待して

齋藤總督は七日午後六時より築地精養軒に都下各新聞通信社長を招待し晚餐の席上大要左の如き演說をなしたり(東京特電)

不肖就任以來茲に一年餘特に誇るべき成績なきも總督府官制改正の趣旨を體して及ばずながら十分なる考慮と忍耐とを以て文化政策實現の端緒を明かんとを欲し先づ憲兵制度に代ふるに警察制度を確立すると共に朝鮮統治の根本的四大項目と信ずべき敎育の普及改善衛生設備の助長增進產業の開發及び地方制度の改良に向つては或は高等普通學校若くは補習科等の新設增設を計り或は慈惠醫院の普及に努め或は官民鐵道の速成を期し又地方自治制實行の第一歩に著手せるが如き夫々各方面に對して漸次施設する所あり其の結果兎も角も今日に於ては相當の安定を保ち得るに至れり

京株行詰
九日立會延期

京城株式現物取引市場には前日買方の氣勢强く京取の暴騰を演じたる爲め九日前場立會までに追證金四萬圓弱の納入を命じたるも定刻までに完納を見ず遂に前場の立會延刻を見るに至りたり聞く所によれば午後二時より開場の事となりしが市場の附き詰まり原因は昨報の如く賣買双方の喰ひ合せ一萬四千餘に上り賣り方側は喰し株の準備終れる事を力說し又買方は受け株資金の準備成れりと樂觀し相場の昂騰に伴なひ賣り方の證據金納入難を見透かし極力買進みしため賣り方は遂に窮地に陷りしもの、如し唯京取株として昨今の如く大商內を續くるに於ては三割若くば四割の配當可能なるべく斯株の値頃として二十五圓は決して高からずとの意見多きが如し尙ほ立會延刻のため市場內外に諸說紛々たり

釘本社長談

帳簿整理に案外手間取て九日の前場は立會延期の止むなきに至つたが制度改正以來の商盛より見て京城取引市場株が二十五圓位の値を出すのは何等不審はないのである唯午等は此の相場が十五日の精算期際になつて出るかと思つてゐたが實は聊か早く來た形である然し此位の波瀾や出來事は今後も屢々あらうし又何等恐くに足らぬと思ふ二三圓位の動きで機關の運轉を延期するの餘儀なきは結局仲買人の不慣れと資力關係等に原因してゐるが相場も之以上に暴飛びを演じ脫線でもするやうの事となれば相當の對策を講ぜねばならぬと思ふと云々と語れるが大日事務竝に仲買人組合委員等と會見し中々忙しげに見受けた

豐田實銀專務談

私の見る所によれば京取株の二十五圓は何等不穩視すべきものでないと思ふ唯そこに至るまでの道程が聊か從來市場の取引狀態から見て暴飛びの觀はあるが此の株を二十五圓以下に抑へて置く事は氣の毒の氣もするさて問題は賣買双方の腰入が如何に解決するかは別として私の考へでは現在喰合せ中客の註文が殆ど許であらうか萬一少なからぬ部分は仲買人の物とすれば場內に於て揉み合つてゐる內に段々手數料を市場にとられるだけ仲買人の懷も減らして行く勘定で京城の如き小市場では面白くない現象を呈しはせぬかと危まる

結局解合か

京取市場の立會延刻は午後二時に至るも遂に不可能にて結局渡行する外なかるべきかと云ひ交賣買方の腰折れにより解合を開き交涉を開きし模樣あり唯相場は賣高二十五圓を主張し居れりと

工事進涉
平壤航空隊

大同江の東岸許山の北東高地に選定されたる平壤航空隊兵營敷地は先頭より地均し工事中なりしが既に一部は完成を告げ本年度內には大部分の地均工事を完成せしむべき計畫なり十年度には飛行場全般の地均工事を完成せしむべき計畫にて兵營建物は明春解氷期を待つて新築工事に著手し十月迄には航空隊陣營の移轉を完了せしむるに至るを以て遲くも十月末十一月上旬には平壤の上空を各機快翔すべし又兵營新設に伴ない船橋里驛より二哩六鎖の廢線鐵道を敷設する事となり不日工事に著手し來年六月迄に完成の豫定なりと

組合新設皆無

大正九年度新設金融組合は既定計畫に基き五十箇所新設の豫定なりしも財界激搖、金融梗塞の影響を受け結局九年度に新設したるもの皆無の有樣なるが右につき某當局は語る

本年度は財界動搖の影響を受け殖產銀行も金融組合へ出資するが如き長期貸付金を喜ばざる結果金融組合を新設するも資金缺乏の爲め何等の事業も爲し得る能はざる狀況にて今日迄には全鮮各地共新設し得ざりしか年度末までならば多少新設せらるべしと觀測せらる斯くの如き有樣なれば大正十年度新設等は全く不明なりと

韓銀頭取更迭
閔大植氏

韓一銀行にては八日開催の重役會の決議により頭取閔泳徽氏取締役李容植の兩氏辭任し頭取後任は閔泳徽氏息閔大植氏就任したり尙今後閔泳徽氏は同銀行顧問役となるべしと

加奈陀議員入城

加奈陀國會議員ウイルソン氏外六名は七日午後入城したるがアメリカン、エツキスプレス、コンパニーのドナルソン氏の案內にて東洋觀光を爲す由にて九日午後二時本府横山囑託の案內に昌德宮を拜觀せり

內鮮の經濟關係
一銀重役 日下義雄氏談

朝鮮と內地との經濟關係に就ては最近齋藤總督が內地に於て朝鮮事情の宣傳をされて居る如き意味に於ても且又一般商取引上、關係に於ても漸次年を逐うて密接なるべきもの又密接ならざるべからざるものと思ふ殊に第一銀行の如きは其歷史に於て韓國時代より朝鮮經濟界との關係ある點より觀て將來益々內鮮經濟界の關係密接の度を加へんことを希望する次第である

東京實業家の朝鮮 經濟界と切實なる交涉あり關係ある者は今日に於ては無いが一例を擧ぐれば大橋新太郎、藤田勝太、服部金太郎氏等佐々木清麿、磯村雄次の諸氏等の關係せる朝鮮興業株式會社の如きは其事業の性質上朝鮮經濟界と一連鎖である即ち朝鮮に於て土地に放資し小作料を收め一方大豆米等の內地移入關係上地方關係上直接に關係を有するもの

關西方面に は東京方面にも之を移送する事の許す場合にして當局の探算の許す場合に南鮮口を中心として地方關係を求めて居るが大勢が內鮮經濟界の大勢に就ては勿論であらうが目下の財界の大勢に就ては多少見直すだらうと云ふ樂觀論者もある程だが余一個の意見としては俄に樂觀を許さぬと思はれる

間島撤兵に伴ふ不穩の宣傳に乘るな
帝國の處置に信賴せよ

間島方面に出動中の我討伐隊は其後不逞鮮人剿討の目的を達し既に一段落を告げたるを以て支那官憲と交涉し今後の再擧を來に對し無告出兵の諒解を得近く國境附近迄撤兵する事に內定したるが機を見るに敏なる不逞鮮人及一部の支那人は是を口實とし種々の不穩なる宣傳を爲すものあり目下の間島方面に於ては種々の風聲鶴唳に人心を搖せしめつゝあるが勿論撤兵は外務當局の聲明したる如く實施すべきも帝國は決して該地方に在る內鮮人一般の生命財產に危險を及ぼすが如き處置は絕對に執らざるものと確信す在間島內鮮人並に國境に居住する邦人は是等不逞の徒の殊更民心を惑亂せしむべき宣傳に乘ぜざるやう愼重なる態度を持し帝國の處置を切に信賴して業務に安んぜざる可からず又支那官憲にありても不穩の言動を爲さざるやう部下を嚴重に取締此結果不逞の態度も漸次改められつゝあるを以て此際誠默して帝國の處置に信賴するを必要とすと某當局は語れり

京城府新豫算
編成の方針

て如何に纏まるべきかは本項纏切りまで判り得ざりき

京城府に於ける大正十年度新豫算は目下尙各部に於て編成中にして今年中には到底纏め度き希望なれ共多少は間に合はざるべく何れ來年一月中組立を了すべし結局は語つて曰く『目下の財界不況が來年に於て果して恢復すべきや又如何なる程度に恢復すべきや或は全く恢復困難なるや其の邊の見込み一切立たざる爲め豫算の編成も頗る困難なるものあり豫算は何うしても道に追隨し道の豫算は總督府の豫算に追隨する傾向あり從つて豫算編成も府に於ては却々に困難ならんと察せらる尙各部の事業の如きも各部各々計畫は有れ共到底財源の減少に依りて緊縮せらるべしと思はる、も現狀以上には到底切り詰め得ざるべく之を編成して可なるや頗る心配させらる、所なるが結局現狀を維持するものと見て之を行ひつゝある次第にて新事業の如きも困難なるべし』云々

防穀延期請願
哈市輸出組合決議

哈爾賓日本穀物輸出組合にては今回大連海關にて北京總稅務司の命により公布せる滿洲產小麥玉蜀黍、高粱、粟、蕎麥、大麥及麥粉の海外輸出禁止令は通商上損害を蒙ること尠からずとて臨時總會を開催し左の決議をなしたる旨七日京城商業會議所に通牒ありたり

今回發布されたる雜穀輸出禁止品中小麥及麥粉の二品にして本組合現在賣買契約成立せるもの及び輸出を目的として買付せる數量(在哈爾賓帝國領事の證明を受けたる)に對して大正十年四月末日迄本禁止令の施行猶豫方に付き至急其筋に請願すべきこと

評議豫選
四名共員外より推薦す

京城府協議員の道評議員候補者豫選會は八日午後六時より府廳に於て開催され志岐、新田、古城の三氏を除き府協議員十五名來會したるが豫選に就ては豫て報導せる如く府協議員中より選出すべきか將又府協議員外より選出すべきかに就き議論容易に決せざりしが結局京城府は他の地方と異なり府協議員外にも人物經歷ある人物多きを以て汎く人材を求むべしとの議多數を占め人物本位の選定に決定し第一著として各自の理想人物を投票し更に決選投票を行ひたる結果

內地人側は 古城管堂、石原磯次郎、賀田直治、大久保雅彥の四氏を舉ぐることに內定したるが如く而して右四氏の中古城管堂石原磯次郎の二氏は或は官選となるべしとの評あれども兩氏中古城管堂氏の如きは多年民間に於て活躍せる關係あるを以て民選としたしとの希望なり而して當局に交涉して賀田直治大久保雅彥兩氏を官選議員たらしめんとの內議をなしたるが如し尙九日午後三時より京城公會堂に於て開催さるべき再度の豫選會に於て愈々之を決定する順序ならんと云ふ一方

朝鮮人側 道評議會員候補者として趙鎭泰及び白完爀の兩氏呼聲高かりしも其後兩氏共に其意志なかりしこと確定し唯目下の所官選として韓相龍民選として金漢奎氏選定さるゝは疑ひなく其他は法曹界若くは實業階級より選出さるゝ模樣なり

辭令
六日付左の通り

京城府事務官 服部豐吉
京城府第一課長を免ず
總督府第一課在勤 澤村荒次郎
京城府第一課長に任ず
總督府裁判所通譯生 林久次郎
任朝鮮總督府裁判所通譯官 七等
補高等法院通譯官

水產檢查會議

九日午前九時半より向ふ三日間本府第二會議室に於て水產製品檢查員會議開催さるゝ同日程左の如し
▲第一日(九日)諮問 ▲第二日(十日)打合 本府提出協議事項檢查員提出協議事項其他に就いて ▲第三日(十一日)訓示諮問

荒木總長視察

荒木京都大學總長は大學演習林視察の爲め九日來晉十日咸興都に向ひ出發の豫定なり

閔元植氏講演

國民協會閔元植氏は多數八日歡迎の裡に晉州に到著したるが普通學校にて講演會開催の豫定なり(晉州特電)

海東銀行總會

海東銀行は九日午後三時より臨時總會を開催し定款變更及び重役補缺選任其他を決議すべし

大貨物取扱驛
朝鮮線

對全北運帶大貨物取扱驛中全北線東山、參禮、大場の三驛を追加し來る二十日より施行すべし

乘車賃割引

來る二十五日より三十日迄東京に於て開催の衞生學研究大會參列者に對し朝鮮線各驛より東京驛又は假田町驛迄三割往復に限り五割引をなすべく通用期間は明年一月二十日迄なりと

慈惠醫院移轉

京城慈惠醫院の名稱位置變更の件は七日附官報を以て發布されたるが其要點は鏡城とありしを羅南に改められたるものなり

宴會私會

○政務總監の饗宴 水野政務總監は九日午後零時半より米國人宣敎師ウッド氏を主賓とし赤池局長外四名を自邸に招待し午餐を饗應す
○菓子商組合總會 來る十一日京城商業會議所會議室に於て京城菓子商組合總會を開會すべし
○一銀店長披露宴 第一銀行京城支店長披露宴の一日は八日夜朝鮮ホテルに開宴同行重役日下義雄氏より新支店長を紹介して一場の挨拶を述べ右に對し水野政務總監の謝辭あり主客交驩の後九時すぎ散會來賓官民主なる者六十餘名なりき

人事消息

▲原田殿氏(陸軍技師) 十一日海州地方に出張
▲長谷新八氏(步兵少佐) 步七八聯隊附より大隊長に補せられ九日赴任挨拶の爲め登廳せり
▲池永軍主計 羅南會寧より八日夜入城
▲荒川安東領事館補 今回外務省に轉勤九日發赴任(安東縣)
▲小泉策太郎氏(代議士) 安東株式商品取引所創立總會に臨むべく此程來安目下滯在中(安東縣)
▲大田鮮銀理事 九日朝退城
▲本木房吉氏(辯護士) 九日釜山へ
▲國重代議士 九日朝內地より入城
▲朴基陽男 九日朝沙里院より歸城
▲梅本水原模範場長 南鮮地方に於ける勸業事務視察中のさころ九日夜歸任
▲前田憲兵司令官 濟州地方巡視中のさころ九日夜來田(大田)
▲山崎猛氏(代議士) 八日夜出發歸東
▲宗伯爵 滯城中の處九日朝釜山に

煙草專賣急務(二)
廣江澤次郎

煙草專賣は當然徵稅の目的物として煙草は實に汙澗の財源であると明治三十七年母國の與論專賣を實施後臺灣も亦政府專賣となり就れも非常なる好成績にして母國の如き昨年度は實に一億〇五百萬圓の純益を擧げたのである朝鮮の專賣實施も唯々時の問題であつたが私は其の專賣斷行が朝鮮全體の爲であり又邦人の發展促進こ云ふ立場より其實施の一日も早からん事を希望したいのである而して[illegible]金融經濟を睨んか鮮內煙草の消費額は逐年增加し昨年度は千七百萬圓に達した消費稅は大正八年八月一日以來三割五分となつたが朝鮮の民度より打算して益三年は先づ製造煙草の消費[illegible]荒刻みを別こし一千五百萬圓以上二千萬圓以內であらうか而して專賣純益は荒刻は別として當分七百萬圓以內と想像される專賣となるとも愛煙者は今日以上煙草の値段が法外に高くなるこ云ふ杞憂は當分絕對にあるまい要するに今日より上品に整正統一したる實が年中供給られる丈け需要者は利益こして間違なしこいふ私の[illegible]が間違つた時は朝鮮の專賣が失敗した時である

寸鐵

京城の妙心寺[illegible]では釋尊の成道[illegible]記念するため去る一日から八日朝まで攝心會を催した▲每[illegible]日夜から八日の曉にかけて徹宵攝心をするのが每年の例であるが今年は陰涼會員五[illegible]が嚴肅になつての法戰[illegible]が打ち下す骨をも碎くか[illegible]る、警策の響が暗を破つて[illegible]なものであつた▲斯くも殺[illegible]つた居士連も草木も眠るで[illegible]三時も過ぎ朝の二時三時頃[illegible]なれば睡魔が襲ひに來るもの[illegible]雲水は絕へず場內を見廻つて[illegible]場の一隅に一雷でもしたかご[illegible]はる、大音響が起つて頑丈な障紙を打ち破り場の外にコロ〱こ轉げ落ちたものがある▲滿座居士の眼は其れに注がれ轉げ落ちたものはムクリ起き上がつて座布團の上に坐らされた何處からも此處からも苦しそうなクスリ〱腹の[illegible]レル樣な笑ひが洩れた續いて[illegible]の笑ひ聲が洩れて果ては滿座のものが笑ひ崩れた▲苦蟲を嚙みしたやうな監視役の雲水迄が言ち忘れて共し笑ひ倒れた▲[illegible]士の一人が是程滑稽味と可笑しみを感じたとは生れて初めてだと云へばわしもそうだと膝[illegible]の一轉話として記憶に止める[illegible]の風評▲その轉げ落ちた或ものは虎溪の圖で名高い某居士が[illegible]り落ちの藝者であつたこやら

下村長官片信

目下滿洲巡遊中の下村長官より加藤社長に宛たる來信を左に

……赤化と云ふものが同時でつゝくか彼方此方のタチか、世の中は『時』と云ふものに考慮を要し申し候世の中一掃づ、高く遠く考慮を要し申し候頭裝足熟なる哉〱滿洲に入りて此感殊に深し

奉天にて しもむらひろ

歲晚市況(二)
木村三越支店長談

本年は朝鮮としては暖氣が比較的永續したので毛皮類其他防寒用品の賣行は如何かと懸念したが結果は案外良好で比較的高價品も賣行く尤も之は財界發高潮の昨年末の景氣に比しては御話にならない數字を示して居る唯昨年末と比較して著しい相違の現象は昨年末には鮮人の兩班連が地方から繰り込みで京城に來て續々買ひ込んで行つたのに本年は更に其の樣子がない又鮮人周衣用の羽二重類の織物は賣足が餘程惡くなつた感がある之等は一に米安に原因して居ると思はれる總じて本年夏以來織物類は値下げをなしたので其れ丈け賣上高に於て減額を示すは止むを得ない所である然し賣上數量の點から言へば相應の高に上つて居るが何分にも製織地織元に品不足のため充分に品揃へをすることが出來なかつた點はあらう地方在住內地人殊に比較的遼隔な咸鏡南北道の奧地方面からは防寒具及び冬物品の註文が續到し小包を以て發荷して居る大體に於て冬物賣行旺盛期は本月十日以後であらう

訂正 前號安倍鮮銀長談中二月一日の發行高とあるは八日の誤り

日出 七時廿七分 日入 五時十六分

峻坂險路を踏破して
杉山枝隊の行程(上)
杉山聯隊長談

遼陽城頭に於て開始せらるべき秋季機動演習參加の爲め鐵嶺の屯營を發し三日間の行軍をなし遼陽に着したのは十月十三日であつた此の夜師團司令部より急遽西間島方面へ出動命令を受けたので俄に隊を纏めて鐵嶺に歸還しそれより晝夜兼行で出動の準備に着手し命令を待つ事數日

愈出動の命令を受けたので

個々十月二十三日の朝鐵嶺城頭の龍首山を後にして鐵路撫順に向つた、枝隊の編成は第九、第十、第十一、第十二の四ケ中隊の外に步兵機關銃隊步兵砲隊及び通信班の各一班である撫順に於ては地官民の熱誠なる歡迎を受け翌二十四日通化に向つて出發した。支那の編成を率ゆる者に五千有餘騰間の秋の水鳴つて壁あり底の心地がして士氣大に振るふ同夜は胡馬嘶く一寒村の民家に露營の夢を結び翌廿五日は渾河の上流蘇子河の流れに沿ひて行軍する事二日潛入し來る不逞鮮人等の根據地たる半拉背金斗火路を詳細に視察し十一月三日鴨綠江の上流に歡布に到着した此日秋空一碧の快晴は天候急變して朔風凜こして征衣の袖を拂ひ須臾にして雪となり六花紛々として行進甚だ困難を極めた此夜の寒暖計は遂に零下二十四度を示し半夜露營の夢も結ばれなかつた翌朝は雪解の惡路泥濘靴を沒し行進意の如くならざりしが

一隊は肅々として渾河の岸

に沿ひ支那官憲の東道を得て通化に到着したのは十一月五日であつた翌六日公主嶺より南下し來つた我が騎兵聯隊來着し亦途く北方を巡邏した小野塚隊は風雪と仲なび泥濘踝を沒する山間の畔地を過ぎ九日通化に到着十日に到り枝隊は高坂少佐の率ゆる寺村中隊大橋機關銃隊石原通信隊を遣く渾江東北の山地に進め枝隊の主力は快當帽子を經て桓仁縣に向つた此の間には胡馬嶺高麗墓子嶺上車消嶺闊山嶺小荒溝嶺不双嶺等の險があり沿道到る奇巖兀突し其の間に翠松を點綴して其の風景

甚だ賞すべきものがあつた

諸隊は十四日の夜より十五日十六日の夜に亘つて始て桓仁に入つた桓仁に滯在する事二日茲にも又支那官民の盛大なる歡迎を受け日支親善の實を擧げ得たのは非常に愉快であつた(安東縣)

木奇と稱する一部落に宿營

した、此夜當地在住邦人によりて興京既に危しとの情報があつた若し否不逞鮮人の來襲を受けたならば斯の方法を以て避難せよとの通牒があつたと云ふ事を知り得たので小野塚少佐の率ゆる仙波中隊に急速前進の命を下した同中隊は橋なき河を渡り峻險なる山道を踏破する事十一里にして夜半興京縣即ち新賓堡さもに到着した、此の夜在留邦人の熱狂的歡迎は非常なものであつた相だ、而して一方枝隊主力は舊都永陵街に一泊し

二十九日高坂少佐の率ゆる

小林中隊は永陵街より興京の東南方六里餘の紅廟子旺清邊川の山地に向ひ、殘餘の隊は興京に入る、是れ撫順出發後六日目である。興京に於て天長節祝日を迎へ鮮支官民と交歡し非常に愉快なる祝日を迎へた當日特筆大書すべきは良民鮮人ばして七八里の道を遠しとせず懇々我が軍隊を迎へて與れたことであつた夫れから鴨綠江畔上流山間の諸所に不逞鮮人の出沒横行甚だしいとの諸情報を得たので三十一日小野塚少佐の率ゆる仙波中隊は本道の北側

五鳳樓三源浦方面に向つた

主力は翌十一月一日東方に向ひ高塚隊を合せ近く北滿方面より

も顯著なる事實は定期貸出しの減少に反して荷爲替手形の增加なりとす、而して一時財界激變時代に於て在荷豐富に倉庫の狹隘をさへ見たるに反し今日倉庫は全く一物の影を留めざる狀態に在りこれ米價の低落に不安を伴ひて一般に思惑其跡を絕ち唯當川口の商內ある外精米筋買進まず現在に於ては唯注文に應じてのみ取引行はれつゝある結果在庫品に對する定期貸出しを減じ荷爲替手形の激增を來せるものなりとす移入商品に在りても年末に迫り卵々作ら

地方必需口の需用を喚起し從來持て餘しの狀態に在りし在庫品の拂けを見其結果は割引手形の增加を生ずるに到れり斯くの如く財界一般に頗る堅實に而も好順に推移しつゝあり以て歲末に際しては或ひは豫想外の安定を見るを得べきか殊に仁川に在りては曩日の激動時代に極度の打擊を蒙れる者極めて尠く他地に比し猶頗る輕易なりし結果今日に際して著しき苦境に陷るが如き者は恐らく尠かるべしと觀測さる、左に參考の爲め仁川五銀行の十一月末に於ける勘定と前年同期の狀況との對照を掲ぐべし

預金の部	本年十一月末	前年十一月末
定期預金	三、七八、六〇九	二、六〇、〇九〇
當座預金	一、八〇、四〇三	二、九九、一六三
特別當座	一、〇〇七、一五〇	九五、九五〇
諸預金	四九、〇四	四〇〇、一六九
合計	七、一八五、二四九	七、〇一〇、九五三

貸出の部	本年十一月末	前年十一月末
定期貸出	三三、〇〇七	一、三六九、四五〇
當座貸出	一、三四三、二九五	一、三一〇、六〇五
割引手形	四〇五、八二〇	九、二三〇、一〇三
荷爲替手形	一、三九八、八四	一、三〇八、一九
合計	七、四三一、四四六	一三、一三八、三二四

之れを以て觀れば前年十一月即ち財界高潮時代に於ける貸出しの膨脹と本年十一月に於ける狀態との如何に激變を生ぜるかを窺ふに足るべきも更に之を十月の狀況と對比すれば財界既に好順に推移しつゝあるを窺知するを得べし即ち左の如し

預金の部	十一月末	十月末
定期	三、七八、六〇九	三、七三七、三五八
當座	一、八〇、四〇三	一、七三一、五五三
特別當座	一、〇〇七、一五〇	一、〇〇六、七六一
諸預金	四九、〇四	四四四、一九九
計	七、一八五、二四九	六、九三三、〇六一

貸出の部	十一月末	十月末
定期貸出	三三、〇〇七	一、三三七、四六三
當座	一、三四三、二九五	一、三三一、八二〇
割引手形	四〇五、八二〇	三九六、一九六
荷爲替手形	一、三九八、八四	一六〇、三〇八
計	七、四三一、四四六	一、三三五、八八六

京城郊外觀(十四)
如何にして仙境たらしむべきか
關根生

隱者こ時に嵐翠を據ふ市民の訴ふべき地なるのや、下る高き山上の斜面、處に占めて一寺刹がある若し此寺刹が山上から蒼々たる松翠を以て覆はれて居たなら、朝夕の梵唄の響には更に餘韻を有すべく同時に洗劍亭一帶に又一脈の幽邃味を漂はすであらう、然り洗劍亭及び附近にして將に綠滴る環翠の間府翠の下に混潺たる其溪流あり(弘濟院川)亭あり寺刹あり茶店あるに至らば、同地點下流の翠峽と共に必ずや京城市民に俗懷を洗ふべき一大仙境になるであらう、斯る時は之に通ずる道路の平易ならざる如きは多く措いて問題とするに足らぬのみならず、現在眼前に接し來る電車の終點迄來て居る、彼の松翠を以て覆はれ門外眼前に立つ峰巒を眺めつゝ上下する道路のや、氣息を急ならしむるあるが如きは或は却て興味の一たるであらう。

此方面の清興は洗劍亭のみを以てしては將來幾何の人工を加ふるこするも態々杖を曳いたるに對しては酬ゆる處が少い此處を訪ふ者は宜しく其流れに添うて曲折せる翠峽の幽道を嵐氣を味はひつゝ、義州街道に出て町(の手になつて流れて居るに過ぎぬ小川通り)に入り家に歸るを以て滿足す可一日の清遊となさねばならぬ、此間の距離は約二里弱に過ぎない正に適當なる散策地である、而して云ふ所の洗劍亭の溪流に至りて更に水量の多く白砂の床、潺々の調べを絕たなかつたら、翠峽の景趣は數段の佳を加ふるであらう、朝鮮の到底惑々碧流に鮮かに翠崖亦多少の憾こする處ながら京城の郊外た美しき由翠峽に流水の少きは元來更に私には一大遺憾たらざるを得ぬ五月雨の季及八月霖雨の候には勿論奔流激湍を呈出するが平時は、洗劍亭より下流滑らかなる數條の細流が白沙の上を奔る、秋になつて高く頭上を壓する峰岳は紅黃を交へて嵐氣落寞す、正に散策の時であらうこ思ふ、山峽の松樹はまだ幼い部分が少くないが之等が充分に山肌白砂を隱し得るようにこんもりとなつた曉は翠峽は更に一段の深さと鮮かさを加ふるであらう事云ふ迄もない、路は轉て片山里に出て左方一帶仁王山背の翠層市街すらを眺めつゝ、義州通りに入つて來るのである。洗劍亭附近及下流の勝地を含む一帶の地區は專ら通人が別莊を建て若くは田園生活を試んとするには甚だ餘地に便利こが少ない、北門外に高麗上の松林中に李埈公殿下の別邸(石坡亭)があるが、一帶は大體に於て隱者の住む處であるべき處がある併し直接には北門內淸雲洞附近に於ける繁閑の時に嵐翠を戀ふる市民の訪ふの附近に依て右の私の豫想は化し行くであらうけれども此地點はいつ迄も隱者の住み時に嵐翠を戀ふ市民の遊樂地として置きたい

一部落に宿營

雜穀禁輸期間短縮請願

支那政府が雜穀の輸出を禁止せるため邦商の蒙る損害甚大なるを以て營口商業會議所にては各地の商業會議所と同一步調を取るべく此程內閣總理大臣、外務大臣、商務兩大臣、拓殖局、關東廳兩長官宛左の請願書を提出したり(營口)

今回總督府の發令したる滿洲產雜穀(小麥、玉黍、高粱、粟、大麥、麥粉)の輸出禁止は北支那の飢饉救濟の趣旨なりと雖も滿洲貿易の蒙る影響少なからざるにより禁止期間を短縮して貿易上の打擊を受けざる程度に止めらるゝ樣北京政府に交渉せられ度此段請願候也

仁川歲末金融
鮮銀神赤支配人談

仁川の歲末金融は何等懸念の必要なく寧ろ好況を辿れるを以て決して不安を生ずる事なかるべし金利のごとき一般狀況より推せば

引緩の大勢に在りと云ふを得べく仁川に於て最近

仁川道議豫選難
主唱者の態度鮮明を缺く 圓滿なる解決到底至難

仁川に於て道評議員選擧に關し協議會員の一部に於て之が豫選投票を行ひ以て滿場一致の行動を執るべしと說く者あり既に一二の氏名を以て之が質問を圖りたる模樣なるも豫選の性質上決して圓滿なる解決を得るに難きものあるべく特に一二の主唱者の態度頗る鮮明ならざる者ありとかにて一般の質問する處とならず遂に豫選は成立せざるに至るべしと觀測さる(仁川)

暗々裡に競爭激甚
群山の道評議員選擧 府協議員會議に於て協定か

群山に於ける道評議員選擧期の切迫と共に表面平靜の如くなるも府協議員中に候補者と目せらるゝ顏觸の多きだけ暗々裡に競爭は相當激烈を極め居れる如く現府協議會員中に道評議會員候補者として下馬評に上り居れるは大澤藤十郎、磯部識、赤松繁夫、森菊五郎、米吉、樋口虎三氏等にして府協議會員外としては佐藤政次郎、柴萬吉、趙重顯氏等にして民選は現府協議會員の決議に依り官選は府尹に依り各二名宛候補者を選定し內各一名の任命を見る筈なるが民選候補者二名は八日の府協議員初會議に於て協定せらるべしと(群山)

大邱爲替受拂

大邱郵便局に於ける十一月中の爲替貯金受拂額は受入口數四千七百七十八口三十四萬三千四百七十八圓四十五錢拂出四千百十七口二十三萬七千九百四十九圓十六錢合計九千二百六十八口四十一萬七千百三十八口四十七萬にして之を前年同月に比較すれば受入に於て九十四口、拂出に於て二口金額十三萬六千四百餘圓の大減少を示せるが就中受入に於ける爲替の六萬三千六百五十餘圓の減少は其の最も著しきものにして拂出に於ける振替貯金四萬三千百八十餘圓、郵便爲替二萬八千二百九十餘圓の減少を見る迄は要するに財界不況に依る商工業不振の半面を現せるものにして郵便貯金の拂出が前年同月に比し五千四百餘圓を減せしは一般貯金思想の向上の結果とすれば喜ぶべき現象なりと云ふべし(大邱)

支那客棧休業

例年結氷期に入るや旅客の往來少きため支那客棧は休業する者あり本年は殊に多く目下二十餘軒に及べり(營口)

物價廉賣
海州雜貨商協議

海州道廳職員の組織せる購買組合は日に增し好評を博し昨今に於ては各官公衙は勿論一般に及ぼさんとする狀態なるより市內の雜貨商連は結束して一致の步調を取り諸物價の廉賣を圖るべく一方實業協會を通して道廳に交渉すべく寄りくゝ協議中なりと(海州)

壯烈想ふべし
仁川武道大會=七日夜各部委員の打合を了し準備全く成る
會場は小學校に變更

仁川武道大會は愈々切迫せり健兒三百何れも腕を練りして待つ七日夜青年會館に於ける各部委員の會合には豫定の通り全員出席し各部の交換を行ひ各部の試合等一切の打合せを了したり

其の確定せる出場人員柔道部九十組一百八十名劍道部五十四組一百八名銃劍術三十五組七十名弓道部六十餘名其他選手等を合すれば其數優に三百五十名を越ゆべく當日の盛況思ふべし而して會場は山手町高等小學校雨天體操場に於て柔劍銃の三部を行ひ校庭にて大弓演武を行ふ事に變更したり當日天候の都合を慮り且つ柔劍道部十名の希望もあり寺町尋常小學校は一般出場選武者に對し

晝飯の準備を整へ居れば奨勵上の擁護は勿論必要なきもの承知せられたし勝負は各部同樣に先づ組合せ六本勝負を終りて後輪轉仕合に移り最高點者より順次優勝者を決する筈なるが弓術に在りては先づ亂射の六的を各三十手の事として優勝者を決定する事となり居れり優勝者に對しては本社寄贈金メダルの外當青協會特別銀メダル外京城柔道獎勵會の寄贈に係る

銀メタル一個を贈呈すべし當日の審判者は特に小牟田仁川警察署長を煩はして臨席を乞ひ審判員は劍道部十名柔道部六名弓道部五名此の外委員劍道部十二名柔道部十名各決定する處あり京城よりは柔道界の權威者倉田三段、松崎三段以下五名の有段者下仁審判指導の勞を執らる、外柔道型を演ずる筈なるが劍道部も亦京龍師範家の來場應援ある筈なりと第一回仁川武道大會は斯の如くして準備全く成り未曾有の盛況を呈すべく期待されつゝあり(仁川)

鳥致院延取引

鳥致院穀物協會にては六日より事務所に於て玄米中白米大豆の三種に限り五日十日十五日の三期に渡る短期先物取引を開始したるが當日中白米百五十叺の初手合せありたり(鳥致院)

滿鮮染料輸出

營口の寺尾德平氏社長として新發州に工場を有し安東に分工場を有する滿鮮染料工業會社は財界不況の影響を受け一時不振を極めしが內地財界稍安定せしため同地の隆盛を來しつゝあり今回米國の染商人は近一日五千斤六千斤の注文殺到しつゝあり同社は同地の製線所を通じて一年間十萬斤を購入すべく差當り見本として二千斤を注文せるが同社にての海外輸出は今回が初めてなれば大いに品質の改善に注意を拂ひつゝありと(營口)

大入滿員の鴨綠江節大會

初日の入場千三百 悠遠の調 凄婉の節 滿場醉へるが如し 安東未曾有の大盛況

鴨綠江節保存會主催安東の各新聞社支局、通信員の後援にかゝる鴨綠江節大會の初日は去る四日午後六時より安東劇場に於て開催されたが當日は寒氣峻烈を極めたにも拘らず定刻より入場者引きも切らず同八時に到つて一千三百餘人の入場客を見、殆んご立錐の餘地なき大入にて滿員札止めの盛況を呈した、二日目は前日程にはなかりしも約一千人の入場者あり非常の大成功であつた、演しものは隆源樓舞妓の手踊り紅葉狩、南山舞妓連の手踊わがもの、太陽豆子の竹ぶくし、丸小亭德丸、小喜多、小韻の鴨綠江節、太陽樓初榮の清元花がたみ、隆源樓德勇、福丸の鴨綠江節、由良之助笑子、綾治の安來節、山蝶內蝶之助の義太夫日吉丸、萬年亭梅治の朝顏日記大井川の段、丸小德丸の追分け、ト一內竹治、政奴の鴨綠江節、三榮樓內八千代の踊り鴻鶴金波樓內松千代、綠治の鴨綠江ぶし、太陽樓內〆奴の義太夫玉藻前、由良之助內勝助の義太夫慶上使、由良之助內秀勇、笑子、綾治の鴨綠江節、ト一內竹治、政奴の安來節、三榮樓內駒太郎、小山蝶之助の鴨綠江ぶし、由良之助內綾治の新內蘭蝶、東雲樓內喜たん、桃吉、勝彌の鴨綠江ぶし、太陽樓內〆奴の義太夫二十四孝、南地連中の長唄秋の道草、次に太陽樓〆奴、小花子、かほる、牡丹等の鴨綠江節にて大切りの鴨綠江節四明の踊りにて大道具、電氣應用にて光も花やかに賑々しき處にて大向ふの大喝采を博したり四明の踊の歌詞は左の如し(安東縣)

作者 藤繩金キ八 作附 ミネ子 振附 花柳芳酒

『御代より光り輝く日の本や明けて幾年北の春を迎へて治し御威光の世は泰平になみ靜か寄く民の榮ひゆく』

『彌生なかばの空うらゝかに野山に彼む春の色も取りゝに若草の露しきつる野邊路ゆたかに集い來て遊ぶ手振も面白しや』

鴨綠江節

『安東の名所を知らぬ主さんに是非見て欲しい十字の東洋一の大鐵橋流れまた眠ふ筏舟』

『鴨綠江まがりくゝて二百餘里はげしき水に流されてついた筏は安東縣向ふ』

『櫻さく春の眺めは鎭江山夏は鴨綠江の涼み舟秋は鳳凰山の紅葉狩り冬はいでゆの五龍背』

『ながれくゝてゆく水の、末はいづくかありなれの其の水上を尋ぬれば其の名も高き長白山』

『朝鮮と支那とを隔つる鴨綠江かけし鐵橋は東洋一十字に開けば眞帆片帆ゆき交ふヂヤンクの眼ばしさ』

『あかれさす旗日の丸筏は丸太下ろ筏夫は猛者のなんなく難所を流し下して明日はまた安東縣につくばかり』

『下しづく流れくゝて鴨綠江下す筏は九千臺安東縣は好い所四季の眺めは鎭江山』

『秋の木の葉は秋風立てゝ見すてられても誰を恨みの抱き疱月を尾花るりのつばさ迷かに知らせて濡れを迎ゐに行たな露が知らせて濡れを惠みぞ有難き』

知る可愛らしいぢやなかいな』

鴨綠江節

『ありなれに流す筏の浮き沈み我が身も同じ川竹の流れにたゞよう掉て小舟拂取るお方がなつかしい』

『ありなれに君が棹さす情の筏寄する岸波にひく女波流れくゝて今は早戀ひしき安東縣なが鴨綠江流れ』

『波風をさらにいとはで鴨綠江流れたゞよう筏舟思ひは遠く波越へて戀の安東縣へたどり行く』

『雪はちらくゝ來る翌年のしるしを待つや待人の待たるゝつらさ入相さそう鐘の聲、戀に上下のへだての無き子さらくゝさゝやく雪の睦言あゝうらやまし』

鴨綠江節

『白頭山谷間くゝの雪さけて下る筏に盲目へば去年に唄ひし鶯の別れしみて今日もまた』

『こだまする斧のひゞきは日本と支那の國にまたがる無辭の森よ力ぼげしく打ちこめば汗のまたしづくに黃金咲く』

『寮淺き雪解の水にゆく夜の夢を浮べて筏舟山をめぐりて瀨を越ゆりや常にまたチラホラ梅の花』

『其の暖の芽出度さは實に神國の根もつよく竹の園生の齡は睨の水のありなれの流を汲んで金銀のつきせぬ寶るりのつぼ蓬萊山もよそならず君の惠みぞ有難き』

歲末大割引大賣出し

寶石 貴金屬 時計 眼鏡 婦人小間物裝身具

京城本町 木村時計店

電話四七一番 振替京城參壹九〇番

當る十日封切 日活京都派 史劇 源平盛衰記 市川姉藏劇

豪勇怪力鬼神の如ぎ賴朝討取りの壯擧

惡七兵衛景清

血涙に袖を絞る阿古屋の琴責め

瀧塚麗水先生傑作 新派悲劇 乳屋の娘

米國プレイヤース會社作 人情活劇 奮鬪の好機

大正館

有價證券賣買

㊂定期部 ㊂現物部

東京株式取引所仲買人 東京日本橋兜町

廣瀨大橋商店

◎歲暮大賣出し◎

○明太の子百匁金拾五錢より各種

○カラスミ、カラスミ粕漬

○明太の子カラスミ同粕漬糀漬

○本場みかん、塩魚、干魚、類各種 珍味品

右卸賣直段ヲ以テ小賣ニ提供ス

貿易商 京城南米倉町市場 岩城商會 振替京城一〇〇六番 電話長八四二番

◆ワシ印ミルク◆

燃料!

結氷の御用意は 貯炭豐富に付御用命願上候

官製煉炭 ピッチ入(一ツ穴)粘土入(三ツ穴) 開城以北一手販賣

岐陽煉炭 ピッチ入卵形(一手販賣)

長水院無煙粉炭

岐陽無煙粉炭

平壤本町 三平 朝鮮商工株式會社 電話長五〇一・四四

御印入 カレンダー

日メクリコヨミ

調製

一月一日 土曜日 四方拜 先負 一白 きのへ子 舊十一月廿三日

◎早く…◎早く…御用意

(本月十五日以後の御注文は御引請不仕候)

◎即時…即刻…御注文

(十五日迄の御注文は一週間內に御納品仕候)

京城本町二丁目 日之出商行 振替京城四〇二番

海底畫家プリチャード氏
海事に關係の多い我が各方面の有力者は此程東京築地同氣倶樂部で海事奬勵會を開催したそして水底畫家として有名な米國人プリチャード氏の作品を展覽し頗る盛會を極めてゐる（寫眞は潜水服を着けたプリチャード氏）

國境の討伐成績
十九師團では二百十三名の不逞鮮人を逮捕した

羅南第十九師團が間島方面に出兵して以來十一月三十日迄に逮捕した不逞鮮人數は百六十九名で尚此外間島領事館に引渡したるものが四十四名ある銃器彈藥等の押收せしもの次の如し

小銃三五六挺、機關銃一、小銃彈藥一九一一〇發、拳銃六五、爆彈四三、其他不穩文書、被服、喇叭等が多數に上れりこのことだ（會寧發電）

歸順鮮人 總數六百五名

十一月十六日琿春縣頭道溝部落民十五名が磯林支隊司令部へ歸順を願出したのが嚆矢で爾來琿春縣內に於ける諸部落から歸順を願出づる者續出して十二月一日迄に琿春及び四道溝（上坂大隊陣營地）に於て取扱つた歸順者總數六百五名に達し今尚續出の狀であると云ふ（琿春發電）

我が軍憲へ 感謝狀
琿春附近鮮人の歸順

琿春附近鮮人の歸順に就ては既報の如くなるが十門子附近小六道溝に在住鮮人は此程左の如き感謝狀を我軍に呈すると共に陰匿せる兵器をも我軍憲に提出したりと歸順の狀大に見るべし

感謝狀

我朝鮮民族は數十年以來當支那領に移住し何れも農に從事し僅かに生命を保ちたる次第なり然るに昨年以來朝鮮內地より所謂愛國士と自稱する不良の徒入り込み韓國獨立なる口に托りて一般農民を煽動し軍資金の調達或は義軍の募集等に奔走し本年の夏より公然と軍隊的の行動を執るに至れり我農民の多くは之が非なるを悟らざりしに非ざるも彼の煽動者の脅迫により餘儀なく其要求に應し多額の金錢を提供し或は義軍に徴せられたるも倘々今秋支那官憲より嚴重なる取調ありて遂に之が武裝團の解散を見るに至り今復貴軍隊此地に派遣せられ之等不逞の徒及支那馬賊等を一切掃蕩せられ我住民の保護に御努力下されつゝあるのみならず吾等の內不逞徒黨の煽動脅迫によるさは雖も從來共獨立運動に參加したるもの尠からざるに拘らず今回何れも御寛大なる御所置に預り無事放還に預りたり實に感謝の至りに不堪今後は如何なる場合と雖も決して再度如斯不良徒の甘言に煽動されず各自農業に勉勵し以て今日の御恩の萬分の一なりとも奉答可致茲に御禮申上候

小六道溝鮮民居住民署名

巡査負傷
怪しき鮮人に拳銃で撃たる

十二月一日午前十一時頃新義州郡古城面龍川洞金鑛の西方約一丁餘の路上に二名の鮮人が拳銃を携帶せるを懹下駐在所巡査二名が犯罪搜查の爲め張中に出會ひ該鮮人の擧動不審なるより取調べんとしたるに彼等は矢庭に短銃を發射したるを以て巡査も止むなく之に應戰中鮮人巡査崔賢の腹部に一發命中し目下義州慈惠醫院に入院中なるが其他內地人巡査は猛烈に奮鬪し賊を逮捕せんとしたるも遂に逃走せり急報に接し新義州警察署より伊駒警部以下數名の警官現場に馳つけ追擊搜查中なるも未だ逮捕するに至らざるもの如し

年內も愈々迫つた！
氣に懸る賞與金
何れの會社でも銀行でも商店でもストーブ會議は此の噂で持ち切り
ボーナス豫想番附 大關は三井物產？

俸給生活者の書き入れ月なる年末決算期が接近したので何處の會社でもストーブを圍みてボーナス云々で話がはづむ只問題となつて居るのは大抵の會社銀行では本年夏頃から從來の **臨時手當** を本俸に繰り込みた關係上昨年頃に比して本俸は約一倍半から二倍になつて居る更に一方財界は不景氣に陷ち込んだと云ふ此際俸給の何ケ月分を出すかゞ問題となつて渦を卷く內ゞでは何箇月分出るか投票して居る向きもある人間の **本能性を** 發揮して遺憾なしと謂ふべきだ先づ大頭株では何んと云つても三井物產で八箇月分は動くまいと云ふ東拓は社員三箇月職員六箇月は間違ひない其上は支店長課長等の責任者には特別賞與がある勿論計算は臨時手當を **引き直し** た本俸の三箇月乃至六箇月である相だから大きい朝鮮銀行でも引直し本俸の五箇月分であらうとの噂其の證據は今度數兵の爲め既に歸國した者が引直し本俸の計算で既に賞與金と云ふ名目で受納に及んだ例があるから間違ひは萬なからうと鬼の首でも取つた樣に行員は **ニコニコ** して居る殖產銀行も朝鮮銀行に比しては多少遜色はあるが計算は引直し本俸基準であると聞く其他の普通銀行でも三四ケ月分は間違ひはないこのことだが二三の銀行の行員は果して計算の基準が引直し本俸かそれとも引直し以前の本俸かと云ふ點に就て多少 **不安の色** を漂はせて居る三越は例年一月決濟後にうんと

こ賞與金を貰ふので歲末には世間で言ふ程に多くないと云ふことだ某會社の社員は餘り多く出ないと覺悟して『イヤ貰ふとが樂みです』と春秋慢の樣な超然的態度を示して居た

基督教信者の不穩計畫
十三名晉州警察に拘引

基督教傳道部に關係ある當地信者十三名不穩宣傳計畫中晉州警察署に拘引され尚ほ居昌郡警察署にも同郡員拘引され連累者多數の見込晉州警察署松下警部補は元兇逮捕の爲め平壤に急行中なりしが七日晉せる故近々事件を發表する由（晉州電報）

一萬圓の横領犯人逮捕さる

本年五月中平安北道楚山郵便局事務員秦利庸が楚山郵便局より義州郵便局へ納付すべき過超金一萬圓を横領逃走せる事件あり爾來引續き搜索中の處本月七日平安北道に於いて右犯人秦利庸及支那紙幣僞造犯人として物色中の金茂榮外一名を共に檢擧したり（新義州電報）

緩衝機 【投書歡迎】

同じ渦中に浸りて 同感生

◎始めて下宿問題が提供されて素人家の中には狼狽するものがあつたのであらう、それは普通下宿を商賣してゐるものより以上に營業的氣分に濃厚の人があるからである、一ケ月算定の基礎に立脚して漠然として三拾圓とか甘五圓とか勝手に決定されてゐる故にその間に於ては利益をほしいまゝにしてゐるものがある樣である、

◎然し吾人として勞力に對する正當なる報酬を目す雅量を有たぬ譯ではない、營業的に振舞つて溫情が缺けてゐると云ふ丈けである、一部の人には『私の所は下宿より安い』との態度を下宿人に見せる所がある、それは概略的の下宿料に就ての誇りであつて實は如何程の料理を提供してゐるかを忘れてゐる樣である、

◎この一文を書いて一部の家庭的にしてゐる素人下宿家の迷惑さるゝ所があるか知れぬ悪しからず諒されよ

弱い者は損ですね 南山町の白揚

◎或日或街で前車が外れて一丁も後方にころがつてるのも知らず盛んに走らせてる荷馬車のヨボ君に注意してやると何だか沸々言ひ乍ら無茶苦茶に馬の頭をひつぱたいた

◎彼處ヨボ君は俺んちの親父のやうに『前車がはづれたのにも氣が付かない間抜馬が何處にあるんだい』と言つて癪減したんだらう、

◎打つたり敲いたりするのも惡愛ならちやと親父や御主人樣が何時もおつしやるから、

◎次に大正九年十一月十六日の午後龍山漢江通では脊廣服中折帽のイルボン紳士の自轉車がヨボ君の脊後から突き當つて紳士の右手はヨボ君の左耳をぽか〱とぶんなぐつた、

◎ベルを鳴らしたのに何故よけないのかと云はないやうな安つぽい耳なら捨てつちまへと云ふんだが成さつさもの樣でもあるだけど、

◎弱い者は損ですね

不心得な放疾 公衛生

◎余は鮮人街に居を構ふる一員にて街路に於て常に不快を感ずる一事あり、他に非ず到る所に唾痰を吐き散らす事即ち此なり、朝に街路を逍遥するの時夕に家路を急ぐの時殊更に不愉快の深きものあり

◎而してそは鮮人街のみならず、黄金町通の如き人車道の區別ある街路に於てすら猶しく放痰し、啻に不快のみならず、衛生上より觀るも或は市街の體裁上より觀察するも決して看過すべき事項に非ず、

◎內鮮人を問はず宜しく各々相愼むと共に當局者の相當取締を希望して已まざる所なり、

戀女房後日譚（七）

借問す、世の若き女性よ 女は總て斯く弱きものなりや——

夫婦氣取で公州へ

病院に夫又造を訪ねた常子は夫にさへ其の苦衷を打明ける勇氣が無かつた。いつにない常子の悄れてゐる樣子を見た夫は、若しや常子の身體に故障があるのではないかと心を曇らした、其の勞はる優しい言葉を聞くにつけ彼女は先づ胸が一杯になつた、若しも此時、彼女は胸の秘密を全部打明けて、夫の膝下に自分の罪、身體ごと投げ出したなら、彼女は救はれ得たらうもの、それさへ爲し得ず、却つて夫に心殘りの言葉を置いて病院を辭した。

病院の扉を開けてさん〱の石段を降りると、月明りを除けて、前の闇い家の影には、ハンチングを眉深に被つた高一が既に待つてゐた、彼に寄添ふなり常子の手を執つて停車場へと急いだ、常子は高一のなすが儘に任せて懷中の千餘圓入の財布まで與へた。斯て午後七時三十分龍山發列車に儀しく投じ、薄暗い影に人目を忍んで小さくなつてゐた。

午後十時廿五分鳥致院驛で二人は下車した、公州行きの自動車はもう翌日でなければ運轉しないので驛前の小さな旅館に投宿した。後で常子はこの夜の光景を語り聽する色も無く『私は茲で辱かしめられました』と云つた、果して辱かしめられたのか、それとも與へたのかは讀者の判斷に任す、如何に心弱い女とは云へ常子の處置は餘りに輕卒であり無恥である。

借問す、世の若き女性よ。女は總て斯うしたものであらうか

×　×　×

翌朝二人は自動車に相擁しながら公州に向つた。そして高一の伯父の家に身を寄せた高一は『僕の愛妻です』と常子を紹介すると常子も『始めまして……何分よろしく』と挨拶した、二人は一室を借りて四日間一つ布團に安からぬ夢を結んだ四日目に警察官吏に發見され、京城の父の迎ひを受けて、常子は恥多き身を再び京城に歸した『常！何てまア情無い事をして呉れた！』是は父親が最初常子の顔を見た時、第一に洩した言葉である『儂や外聞が悪くて、世間に顔向けも出來やしない』是は常子を門口に迎へた最初母親が投げ出した言葉である

×　×　×

常子が突然行方不明になつて以來、夫は心も狂ふ許り全力を擧げて搜索に從事した。最愛の妻、一生を契り合つた妻、その妻が仇し男と手に手を取つて姿を晦まさうとは、さうして思へやうぞ、彼は必ず不運の徒に過かしめられ惨殺の憂目にあつたか、或は淺辱の上醜業婦に賣られたものか何處かに誘拐されたものと信じ、一刻も安き心地がしなかつた。夜、床に就いても幻に妻の青ざめた面影を見出したり或は夜中惡夢に襲はれて飛び起きたり、彼は彼自身の生命まで縮まる如く憂へた。

然るに！常子の心は高一に食ひ付いてゐたのだ！！彼は如何に落愕したらう、其時ら夢なれ、夢なら醒よと祈つたが追々時日が經過するに伴れ、眞相が爆露されて來たので、彼は今更常子を過信した愚を悔ゆると共に憤懣と痛恨の情に堪へず熱涙に咽んだ。

家庭と婦人 寒さは婦人の敵（上）

婦人の腰の冷ねる一つの原因は足の尖端から來る寒さ

寒さを防ぐ服装 龍山鐵道病院産婦人科 伊笠醫學士談

新任龍山鐵道病院産婦人科醫長伊笠醫學士は『婦人の大敵は寒さです』とて斯うしたお話をなさいました。

『元來日本の婦人は寒氣さいふものに一種の恐れを抱いて居る樣に思います。寒い日と云へば終日火鉢の傍 にこびりついて全く活動を中止してしまひ、已むなく外出する時には五枚も六枚も重ね着をして傴僂病患者の樣な恰好をし寒さに追はれて街路に迷ひ步くのです。若しこれと反對に皆樣が寒氣に親しまうと云ふ考へを持たれたならば此の一冬は屹度愉快に活動する事が出來るであります。霜柱のスグリと立つ早朝に白い **霧の樣な呼氣** を吐いて街路を濶步すれば冷やい空氣が頬をかすめ身體內の血潮は外へ吹き出しはせぬかと思ふばかり、この時こそ寒さの味は二度と忘れられない者になりませう。寒氣に向つては先づ寒さに堪へると云ふ事が最も男子らしい仕方でありまして、嘸て言へば干敵の圍みの中に在つて孤軍を守り援軍を待つさいふ **境地にある者** でせう。此の寒さに堪へると云ふ事が柔人をいやがらせる最大原因であります。けれども、此の耐寒の中にも云ふに云はれぬ愉快のある事を少しでも夫れ婦人に要求する事は少し酷な樣に考へられます。然しこれが婦人には寧ろ相當の武裝をして襲擊して來る敵を木葉微塵に叩きつけ寒氣の外に超然として冬越しをする事を **お勸めしたい** のであります。即ち寒さを防ぐだけの裝ひをして寒氣を凌ぐと云ふのが最上と存じます。そこで私が第一に氣づきましたのが婦人の下肢であります。足の尖には一足の足袋を穿き、腰から下には何等の防備が施してない、所謂寒さの襲擊して參ります隙を作つておいてはいくら五枚十枚の重ね着をしても **傴僂病患者と** ならざらんと欲する、豈得べけんやであります。夫許りでなく婦人が腰の冷ねると云ふ事は先づこの足の尖から來た寒さが原因をなして居るもの、樣であります。 **腰が冷ねると** 云ふのは日本の婦人病患者は冷ねると云ふ訴へを澤山持つて參りますが、西洋の婦人には腰が痛むと云ふ訴への外に腰が冷ねると云ふ訴へを聞きませんのでの推察されます。其の昔江戸の辰巳に素足の美を誇り俠めの意氣を此れに託した時は所謂前申しました耐寒の最證でありますが、一般の婦人には當てはまらない事かと思ひます。

政務總監夫人の寄附
女子技藝學校へ

平素女子教育に重きを置き殊に自ら慈善的學校の經營に干與されてゐる水野政務總監夫人は平素當地各女學校をも參觀したしこの意向なりしも多用の爲め意の如くならざる折柄八日西小門女子技藝學校へ使ひを以て金一封寄附あり同校長初め生徒一同夫人の德を感謝し平素は特別御高覽に供する程の事もなければ是非來期展覽會には御臨席の榮を蒙りたく尚この後ます〱當地女子教育界の爲め微力乍ら御思召にそはん事を期し衷心感謝の意を表してゐる

義太夫花籠べ
硯瀬 石水
池田 旭昇

下手上手を比べるでは無い、この兩君とゴツチヤにして見たら定めて面白い浄瑠璃が聽かれる事だと思ふ、石水君の語り口は伶り輕い方で無い點に於て旭昇君に似てゐるが狩窟の招律に現はれる人形には輕い妙味がある、何方かさ云へば調語りで而も師匠の教ねを守つて忠實に語る處、その性格に酷似してゐると云ひたい、旭昇君は是れに比べると同じ語り口ながら、いけに達物を消化して見たがる、得意の忠四や太十などでは何うも喰い足らぬらしい、今の處聽物の選擇に迷つてゐると云つた形、ダゞ失れだけに石水君に比べると語り物に現はれる人形が自己の性格に合はぬ老人でも女房でも相應に持ち消化すが石水君ほど打ち込まない、但し旭昇君の性格に合致した人形は世話時代だと思ふ、兎に角この兩君のゴツチヤにしたら定て興味ある語物が出來やう

新年文藝募集

本社は來るべき大正十年一月發行の本紙新年號を飾るため左の如く和歌俳句漢詩川柳等を懸賞にて募集す同好諸子の奮つて御投稿あらんことを規定其の他左の如し

▲短歌 『朝』 尾上柴舟選
▲俳句 『新年雜詠』 內藤鳴雪選
▲漢詩 『新年寄友』 高野竹隱選
▲川柳 『二次會』 劍花坊選
▲情歌 『歌留多』 編輯局選
▲漫畫 『新年に因めるもの』 編輯局選
▲規定 投稿は各種共一人五首以內▲用紙葉書▲原稿には住所姓名明記の事▲宛名は京城日報新年文藝係
▲締切 十二月十三日限
▲賞金 各種共一等（二圓）二等（一圓五十錢）三等（一圓）但し賞金は發表後一週間を經されば送呈せず

課題正誤 本課題中『和歌新年雜詠』俳句『朝』とありしは『和歌』『朝』『俳句』『新年雜詠』の誤植に付訂正

京城日報文藝係

自轉車を盗んで遊ぶ

立て取調た處十月頃茶屋町一七〇金漢敬から自轉車一臺を借り受け其儘横領十一月二十六日午…つたと申し立てたので八日檢事局に送られた

小火頻々

八日午後六時…七時四十分鎭火した原因は溫突の破損個所からの失火損害三…

▲同午後七時三十分林町十…失火したが原因溫突破損損害三十五圓

…ストリキニーネを與へたる嫌疑にて七日新義州署に召喚せられ目下自殺幇助罪にて司法係の取調を受けたり（新義州）

…仙太郎、佐藤康夫、永原慶子、同正造、宮重俊吉、小幡虎藏、佐藤昭蔵、日下義純、內海盛重、山路一善、同すゑ子、同ひさ子、同あき子、同梅子、山崎梅次郎、藤村哲三、川島友一外人十一名二等百名三等三百二十七名…子外入二十一名二等三十二名三等百三十一名

八日夜大邱ず可き連絡船豊蛟丸は圖釜海峽風波烈しき爲め定時より約一時三十分延着の爲めに十一時北行列車は約一時間の延發を爲せり（八日）

本町二丁目聯合
大景品附歳暮大賣出し
御買求一圓毎に景品券一枚宛進呈

景品目錄
▲特等 金側懷中時計
▲壹等 桐重箪司 大姿見其他
▲貳等 桐用箪司 白米五斗俵一俵 鏡臺其他
參等以下十等迄 空籤ナシ
十二月一日ヨリ 同三十一日 午後五時迄

商業登記公告
仁川倉庫株式會社（解散）大正九年拾壹月貳拾五日株主總會ノ決議ニ因リ解散シタリ
淸算人ノ氏名住所 仁川府山手町貳丁目拾六番地 吉田秀次郎 同府本町三丁目六番地 加來榮太郎 同府本町貳丁目四番地 河野竹之助 同府仲町四丁目參番地 平山松太郎
淸算人ハ各自會社ヲ代表ス
右大正九年拾貳月八日登記
京城地方法院仁川支廳

肌寒の風に
御油斷は大敵
かぜ引は申す迄もなく
ねつが出て惡寒のする時は重くならぬ內早く
ハカリ印のヘブリン丸をお用ひなさい
かぜとねつには ハカリにかけた樣 責任分量で 立派にきく
大阪市北濱一丁目
本舖 合資會社 參天堂藥房
登録 商標 ハカリ印

長男光男儀病中ノ處九日午前二時死去致候間此段告候也
追而葬儀ハ十日午後二時自宅出棺南山本願寺ニ於テ執行候
父 板倉光秀
親戚 板倉達源
同 敬三
總代 原彦藏
佐野正太
友人 肥塚峯太郎
坂井林助
田中隆平
柳井義次郎
代 中西

御會葬御禮
女 李玉揆
京城鍾路警察署 葬儀委員

吸入瓦斯發動機
百馬力 カイノツク會社製
六十五馬力 カイノツク會社製
四拾馬力 大阪鐵工所製
二十五馬力 大野鐵工所製
十馬力 タンギー會社製
十馬力 ナショナル會社製
八馬力 ナショナル會社製
八馬力 新見鐵工所製
六馬力 大野鐵工所製
六馬力 佐竹鐵工所製
外汽機汽罐各種
大阪市西區市岡新開
丸三商會
電話西長六九六

正十四金萬年筆 無代進呈
急告
マント、トンビ、オーバー、モヂリ
時價三分ノ一 五圓內外
在庫品約一萬點限り毛織物暴落工場年末金融のため急處分したし實價信用のため先づ實物見本ハガキで申込あれば各種實物見本外に無代直送す宣先着三千名限り規定通り正十四金萬年筆無代進呈
東京市京橋區北紺屋町 輸出入品倉庫事務所

仁川 佐藤病院
電話四〇九番
院長ドクトル メヂチーナ 佐藤小五郎
入院應需

商業登記公告
合資會社丸田屋商店（變更）大正九年拾貳月貳拾七日左ノ通リ支店ヲ設置シタリ
京城府南大門通五丁目五拾九番地
右大正九年拾貳月七日登記
京城地方法院仁川支廳

客月二十六日午後十一時頃新町長谷川樓に底拔騷した遊客を怪しこ睨んだ本町署刑事は早速逃……（三）張三眼（こ）を引き……夜五時頃郵便局前に立掛けてあつた黄金町一丁目清水組自轉車八十五圓を失敬し質其金で早速前記長谷川樓に登樓散財中であ……二十分頃禾泉町一七七李光赫方から發火同家を全燒更に隣家韓秀晩方に延燒したが消防隊の活動に依り同家屋根一部を燒却し……力と在潤方から發火した間もなく鎭火原因温突焚口の不始末損害三百圓の見込▲同日午後九時四十分内資洞二〇八崔洪路方が……

素晴らしい支那の鼻息

北京上海間の定期航空路を設けると云ふ計畫

最近陸軍省に達したる支那政府の公報によれば支那は近く大航空政策を樹て先づ北京上海間の九百八哩に定期航空路を建設し郵便物の逓送を開始し以て外國航空者の入國を防止し國内に於ける飛行思想を涵養し一面不備なる國内の交通機關補充に充つべしと云ふ（東京電報）

水原の巡査慘殺事件

暴徒の控訴判決

首魁は懲役各十五年　外廿四名も夫々判決言渡

昨年四月水原地方に於て面事務所を破壞し巡査駐在所を燒拂ひ巡査を慘殺したる暴徒の一團首魁と目すべき車喜植、李永劍等外二十四名に對する第二審判決言渡は九日午前十時京城覆審法院刑事第七號法廷に於て岡本檢事立會にて塚原裁判長の左の如き言渡しがあつた▲車喜植、李永劍各十五年▲張頭煥、張濟稷、鄭瑞爾各十二年▲車仁範、李順根各十年此の外金賢默外一名無罪にて其他の被告等は五年以下六箇月

京電問題に對する

當局と市民

市民代表者と竹内遞信局長との會見顚末

動力、瓦斯、電車に就て……

問（往訪者）美濃部委員長、志岐信太郎、古城梅溪、長井延次、大村商業會議所監記長の諸氏

答（當局者）竹内遞信局長其他、遠藤經理課長、中村井技官

（問）……會社經營上電力一キロに對する人件費は幾何なりや而して他會社との比例如何

（答）……本來公務の報酬を初めとし電氣瓦斯電車動力の四業務に連帶するものあるを以て分別に困難なるが故に不明なり

（問）……設備費利子四朱に相當する實任量を使用者に於て使用せざりし剩余電力の轉用に就ては其收入は如何なる處理法によらるゝや

（答）……會社に於て適宜に處理しある事と思意す

（問）……設備費の總額如何

（答）……設備費總額とは會社側にて何を意味するや判明せず

（問）……現狀を改良して完全のものとなすには幾何の費用を要すべきや

（答）……尠からざる經費を要するも其正確なる數は未だ判明せざるを以て目下會社に調査を命じ居れり

（問）……監督官廳として現在會社の經營振りを誠意親切なりと認めらるゝや御感想如何

（答）……多少欠陷ありと認む依つて此等に關しては其善を命ずる考へである元來電氣會社の監督は内地其他遞信局に於て司りつゝあれども其の制裁たるや料金に過ぎざるが故に悪辣なる會社にして科料を豫期して平然たる場合に於ては制裁力甚だ微弱なるを免れず此の例は御承知の如く東京に於て實現せられ當局も遂に他に一會社の設立を許可し以て今日の改善を見たるが如き最も適切なる實例と云ふべし故に京城電氣會社の事務が乘員に横暴に流れ市民各位の利益を蹂躪するが如き事あらば他に一會社の新設を許すの他なかるべし最も斯くの如き公共的事業は自治體に於て經營するを至便とするを以て京城府が自治體となる曉に於ては市の事業たるべきものなるべし

（問）……鎭海馬山の經營狀態及其收支歩合如何

（答）……馬山に於て多少の損失あるが如し此れを京城の負擔に歸するは合理ならざるキライあるを以て考慮すべし

（問）……現在の電車は都市交通機關として相當のものと認め居らるゝや特に車臺に就て……

（答）……右は鐵道部の監督に屬するが故に同部の意見を聽せられたし

（問）……危險、マントルは著しく劣等品なるが如し果して如何

（答）……從來は不良品ありしも現在はさる事なし

（問）……三千キロタービン發電機は來年三月到着の豫定なりと云ふ右は事實相違なきや而して之を實用し得る時日如何

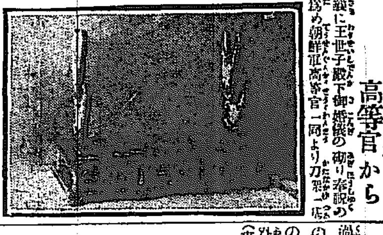
（答）……當局も此事を懸念するを以て相違無き様命令を發する考へなり

（問）……改善を要する點ありとせば何年何月迄に完成すべきや

（答）……明言し難きも全部の改良を終了する迄は相當の時日を要すべし（終り）

王世子殿下に獻上の刀架

朝鮮軍の各高等官から



王世子殿下御婚儀の砌り奉祝の爲め朝鮮軍高等官一同より刀架一基を獻上する事となり目錄のみ奉呈しゐたるが今回京城蒔繪細工金蒔繪製の粹美なるもの出來上りたるを以て獻上したり御納めあらせられたり

ペスト南下の兆あり

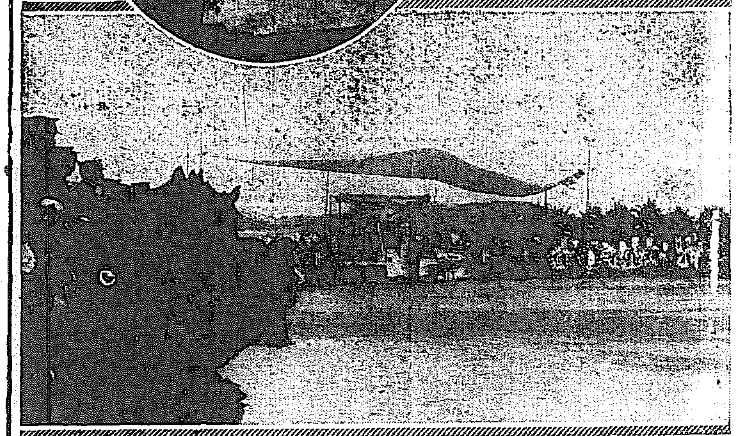
海拉爾のペストは其後益々猖獗の徴あり最近支那旅館に三名患者發生せる外苦力四名死亡せる事實あるを發見せり支那官憲にては巡警をして各所に立哨の上交通遮斷を警戒しつゝあるも防疫法徹底せざる憾みありなほ南下の形勢あるを以て防疫部にては極力是が防遏に努めつゝあれり（海拉爾電報）

通信事務復舊

既報の通り朝鮮各地風雪の爲め東京滿洲地方の電報は不通又は……

寫眞説明

殉職刑事の葬儀（上）工藤知事の弔詞朗讀（下）式場



……遲延してゐたが右は悉く九日早朝迄に復舊して平常の如く事務を取ることゝなつた

東海道沿線電話不通

七日午後五時より降雪の爲不通となりたる大阪東京間電話線は八日朝に至るも東海道沿線降雪猛烈にして就中米原附近殊に甚だしく未だ開通を見るに至らず（東京電報）

木浦の初雪

七日以來烈風吹き氣温低下し八日朝初雪降る平年に比し一日昨年に比し十四日遲し（木浦電報）

汽船の中に

密航者の潜伏室

大工と船員が結托して密航者を匿まふ

過般大阪商船アラビヤ丸に船員及大工が結托し船内に密航者の潜伏室を設け密航者數名を隱まひ居たるを沙市駐在濱田領事の發見する所となり此旨七日外務省に急電ありたり外務省は意外の情報に一驚を喫し神奈川縣に通牒を發し其取締を電命せり（東京電報）

會葬者をして泣かしめた

殉職刑事の葬儀

會葬者無慮二千名　前例のない盛葬

四日殉職した鍾路署刑事李廷璧氏の葬儀は豫定の通り八日執行された此日寒風肌を刺す許りであつた午刻後一時といふに

騎馬警官 十七名指揮官を先頭として知事三部長各署からの花輪朝鮮妓生各檢番からの花輪之に續き柩は葬儀委員に鈴木警部を始め近親者に護られ乍ら鍾花洞の自宅を出で靜々と式場訓練院に向ふ柩の後には同刑事妻が喪主となり更に各署警官一般會葬者之に隨ひ葬列は延々數町に亘り一時

光熙門行 本町四丁目で電車も止まる程であつた行きの電車も止まる路傍には喪葬を見んとて觀衆堵をなして居た之より先式場には赤池警務局長、工藤知事、李完用伯、朴箕陽男、司令官代理の副官等を始めとして自動車馬車にて先着して柩を迎へ場外又觀衆頗る多く當日の會葬者二千と註された廳で柩到着するや

一同脱帽 して迎へ鍾路署員騎馬警官を左側に會葬者は三部、昌德宮、本町、東大門、西大門、龍山消防隊の順位で右側に整列すれば鮮僧柩前に進んで讀經、次に鍾路署長に弔詞を朗讀すその言々句々部下の死を悼んで聲涙共に下る。未亡人始め近親者會葬者は嗚咽す。署長に續いて

工藤知事 三部長弔詞朗讀あり。終つて未亡人近親者、鍾路署長始め會葬者の燒香あり三部、昌德宮、本町、東大門、西大門龍山消防隊は各班前に整列し署長代表して燒香し告別式を終つた香煙繚々として立上り悲風も亦哀悼するかと思はれた式終つて各署から二名の代表者付添ひ

忘憂里の 墓地に埋葬した時に午後八時であつた

府の服部事務官退職

後釜には澤村事務官

久しく京城府廳第一課長の椅子にその進退を判明させずに居た服部事務官は愈々七日附辭令を以て現職を免ぜられることゝなつたが後任は既報の通り總督府事務官であつた澤村荒次郎氏に確定した氏は九日朝京城府廳に尹宗に於て親しく服部氏と會見してゐたが退出の際記者が『御目出度う』と云ふと『その胸中を探ると』いや怎うも未だ服部事務官も全然出勤されないと云ふ譯ではなし此の際怎うもそれだけは怎うも困るそのうち日を改めて御話し申上げる事にしませう怎うも今の所服部さんの後釜に坐つて頗る擽つたさそうにイソ〳〵として居た

澤村事務官略歴

新任京城府第一課長澤村荒次郎氏は明治八年七月十五日生和歌山縣京都市下京區高倉通寺前料屋町三百五十一番地にして明治三十年京都府屬に就任四十三年四月在官の儘韓國政府に傭聘道主事に任じ慶尚北道監察道在勤を命ぜられ四十四年五月總督府屬となり大正八年十二月府事務官兼務京城府在勤を命ぜられ今日に及ぶ

簇出した泡沫會社

滅茶々々の態

鮮人資本家の資金集中は愼重な考慮を要する　財務當局者の談

會社令撤廢と共に當時の財界未曾有の好況で朝鮮にも所謂泡沫會社が簇出したもの、財界が不況で新設會社銀行も漸次滅茶々々となり最近は相當有望視された

會社や銀行 すら成立が困難になつて悲境に沈んでゐるものが尠くないらしい。監督官廳たる財務局の某氏は語る『海東銀行と云ひ朝鮮產業銀行と云ひ困つたものです、海東銀行は專務取締役沈、閔氏が上海とか北京とかに逃亡し失踪となり

今後　何に 行務か處理されて行くか憂慮に堪へない。朝鮮產業銀行も到底成立困難と噂されてゐるが或は資本金を縮少して纏まるとも傳へられてゐる。兎も角一部鮮人側資本家の無智なのに乘じて徒らに資本を集めて事業を起さうとするものがあり

正規の手續 に依り完全な形式で願出た銀行會社は監督官が調査の上許可するが幹部が將來如何な悪事をするか迄は調査も困難であり又斯かる干渉は不可能である從つて海東銀行の如きも株主各自が適當の調査を要すべき事で殊に

重役選任等 は全く株主相互の責任であらう、たゞ當局としては銀行が預金者に對して迷惑を掛ける否やに就いては嚴重に監督する方針である結果海東銀行の如きも現在の預金約四萬圓は充分拂戻し得ると思料するので其上に監督の仕様がない要するに

鮮人資本家 が徒らに資本を集中する事は愼重考慮を要すべく亦一面に於いて財界を攪亂するが如き結果を齎すべからざるべきを要すると思ふ』

山水　木島櫻谷氏作

三都大家最近作品展覽會

大阪美術協會主催本社後援の三都大家最近作品展覽會は既報のごとく來る十八、十九、二十の三日間本社來賓間に於て開催の筈であるが同會出品中の傑作數點を順次左に紹介する

不景氣な忘年會

小さい會は大抵お流れ　世間は矢張り不景氣だ

泣いても笑つても今年は剩す處後二十日となつた。例に依つてボツ〳〵忘年會の季節が迫つて來た一般の景氣は怎うかと云ふと先月中旬頃一寸盛り返してゐたが今月に這入つてから又も不景氣の底に達する有様で恰も去年の暮に比較すると小さい宴會は全部がお流れになつて大抵三十人から六十人と云つた具合で忘年宴會から覗いて見ても細かして經費節減と云つたやうな心細さがないでもないらしい、先づ市内の主なる料理店で訊いて見ても花月迄では九日迄に付けて込が三組位で京電の四十七八人を皮切りにお醫者さんの六十人此他で去年に比較すると料理は二割方安値らしいが酒が下つて居るから醫者の綿香代が節つて居るからと差はないと云ふことだ見ると醫者一人が御約束（車賃其他共）六圓五十錢で料理代は子で宴會一人前の額を列記して▲花月十圓から十二三圓迄▲千代本十五圓内外▲白水十圓が普通▲清華亭十……京々久三圓から七八圓▲……一二三圓位のもので一般に物價の下落が不均等で遣り難いと云ふ狀態はある、今年は一體に不景氣で何處の料理屋も當込みがはづれそうだと云ふことだ

暮に近づき

花はくれかず何は兎もあれトウヤンに如かずと云ひ合し女は去る八日午前九時頃鍾路仙赤格子綢の袷に同じく絹綢立綢の羽織を著流し鳥渡結さんの處へと云つて出掛けた儘姿を晦まし逃亡したるを後にて樓主が發見、直ちに北部に捜索方を願ひ出たり一方皐月は新任大森龍山署長宛歎願の

艶めかしい

假名交りの手紙に『わたしは菊水の抱へですが樓主が鬼のやうに責め苛なみ、ゐても立つても居られませんから他に二三人血の涙を流してゐます、どうぞ宜しくお調べを願ひます』と書きならつて寄越したるにフロック嚴めしき署長殿封筒を眺めたるに

大田の消印

ありつかりや、紫、喰ひ付きや紅よ、今更女郎の苦界の恐ろしさに呆れ返り前任地青森には此處奇抜な手紙は來なかつたと云つたか奈何だか

無茶な奴

逃げた先から署長に手紙

桃山遊廓の女郎龍山署長を面喰はす

何をくよ〳〵川端柳、水の流れをぐツと横眼に睨んで鳥や菊水の皐月こと云ふた姐さんだよと龍山桃山遊廓にて羽振りを利かせてゐた菊水樓の抱へ娼妓皐月（二三）は數箇月前京城旭町人力車帳場の一〇組親子高本德次郎が一夜登樓してより深く云ひ交し痴情極まり何かと呼出しをかける馴染さんに鳥が鳴かう が夜が明……

けやうがお寺の坊さん餘程こう德さんのお布施のみに他愛無く其日を送り『何れ處もお寶を藏めてからお帳場の神さんになること』と朋輩共を呆れさせたが色男の德さんも唯の鼠にあらず皐月を巧にたらし込み何れは脈落と酒落た揚句何處かに飛ばして甘い汁を吸はむもの二計畫中年の瀬も流れ〳〵て

東學各分派

記念祭

盛況を極む

十二月八日は陰暦十月廿八日で東學の始祖水雲大神師崔濟愚九十六回の誕辰日に當るので天道敎を除く各東學の分派では盛大に記念祭を行つた

濟愚敎 京城寺子洞五十番地の濟愚敎本部では道師李貞秀氏司會の下に午前十一時から同敎堂に於いて開會し心告、師呪文、沿革說明等があり正午閉式した各道よりの參會者は一百餘名に達した

青林敎 青林敎では開敎第六十三回の聖誕記念日を迎へるので齋洞六十三番地の新事務所には幔幕を張り萬國旗を交叉して太宗觀長金相昌氏始め各幹部出席正午から盛大に式を擧げた午後一時頃閉式の上金相昌氏起ちて自分の心告呪文の三回誦呪があり布敎に關する講演を首め道師各布敎師の注意に關し李昌會、金泰瑞、朴炳麟氏等の講演あり午後二時過閉式した同敎では當春事變以來間島に於いて非常に發展し敎徒の新入十六萬名に達したさうで同方面よりの代表者首め各道代表者一百餘名出席した

侍天敎總部 金演局氏を敎主とする侍天敎總部では今回宋秉畯氏の侍天敎々部を併合する事に成つたので宋派の敎徒を首め約一千名參席し最も盛大に式を擧げた午後一時開式と共に金演局氏始め敎席道師、師呪の上祈禱文を誦して午後二時半無事閉會した同敎では九日の夜は大引戴致典の禮を擧ぐる筈である

鴨綠江凍結

氷上通行始まらん

鴨綠江方面は八日頃より寒氣遽かに凛烈八日鴨綠江は殆んど結氷したるを以て今後三四日の中には氷上の通行容易なるべし（安東縣電報）

婦人の轢死

九日未明牛頭驛南方信號外にて二十歳位の内地婦人轢死し居れるを發見大騷ぎを爲したるが多分同時刻同驛通過の釜山奉天間急行列車に轢かれたるものらしく四圍の情況より察するに覺悟の自殺なるべし

年末年頭にかけて宴會や親睦會は改裝せ……梅の家……へ　電話七三五番

殉職巡査へ同情金

左の諸氏から感激に充ちた手紙に添へて李、近藤、柳の三刑事に對し同情金寄附方を本社に依頼して來た

金二圓　鍾路四丁目　黑川みき
金一圓　本町四丁目　松本ゆき
金一圓　櫻井町二丁目　江熊悦
金一圓　櫻井町一丁目　宇野まさの
金五圓　櫻井町二丁目　橋本八重

本社から殉職李刑事へ

弔慰金寄贈

金五拾圓　京城日報社
五拾二圓　毎日申報社
金五拾圓六拾錢

戰爭お伽會

滿鐵社友會にては子供會の爲め來る十一日午後六時半より矢橋小三氏を聘し同所に於て西伯利亞從軍の戰爭お伽噺を催すべしと

●黑川氏令嬢の訃　高等法院書記長黑川晉氏令嬢アキ子（六歳）は肺炎にて七日死去八日葬儀を執行せり

演藝

▲大正館　十日より新狂言

▲黄金館　……▲實寫『大理石切出の實況』▲喜劇『モリツツの寫眞師』▲新派悲劇『乳母の嫁』全六卷▲人情活劇『悪の婚禮』全五卷▲喜劇『悪七兵衛景清』全七卷

▲喜樂館　十二日より新寫眞と差替へ▲實寫『コンスタンチン廻遊』▲滑稽『下手な音樂師』▲新派活劇『火中の美人』全五卷▲連續活劇『虎の足跡』四卷上場▲舊劇『戸田新八郎』全七卷

連絡船上陸客

七日朝入港高麗丸上陸船客一等（三〇名）中島多賀吉、吉塚延太郎、近藤……寺山武士、古谷文四郎外八名、二等三十四名三等百二名

八日朝入港博愛丸上陸船客一等（二八名）橫山史子、同初子、渡邊友二郎、高木茂……國正政助、岡みち、……

自殺者

安東縣……關巡視松岡優男（三二）は本紙既報の自殺せる新義州櫻町料理店三吉屋抱へ前妓治はマツに毒藥……

◎冬の御用意……には

▲專賣特許宮崎式ペーチカ
▲新案特許宮崎式温突ペーチカ
▲新案特許宮崎式温突ペーチカ（最新型）を

◎特色と効果は御用命先に成るほど!うだ!と毎年御褒辭を頂いて居ります

説明書御一報次第参上いたします

京城龍山停車場前　電話八四三番　宮崎組本店

支店　平壤、群南、大連、奉天、長春

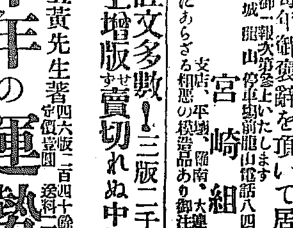
◎注意　近頃特許にあらざる粗悪の模造品あり御注意を乞ふ

大好評註文多數!三版二千部限り發行す以上増版せず賣切れぬ中に大至急注文あれ

支學士神山五黄先生著　四六版二百四十餘頁　定價壹圓　送料二錢

大正十年　今年の運勢

附錄　大正十年株式米豫斷各人一代の運勢と適業　大正十年吉凶日表、九星方位圖解



先生が東京毎日新聞社の依頼に應じ年元旦號に發表せられたる大正九年界政界の豫斷が正確に的中せる事は世人の記憶に新なるを信ず本書は先生が多年の研究に基き一々盤を立て、大正十年各人の運勢を豫斷せられたる秘寶眞に萬人必讀の寶典也

發行所　東京上野櫻木町（美術學校前）振替口座東京五一九三四番　神山易斷所

製品代理店（比較ハ撰擇ノ最良法）

京城黄金町二丁目

わた　蚊帳　蒲團　西川綿店

電話二七七八番　振替京城八三五一番

▲熟練ノ綿入職人差出シ候　地方御注文ハ便宜表差シ送リ候

中シン無特製品

刑事專門辯護士　本木房吉

京城黄金町三丁目三十番地（ブラック東側小路入る）

電話長二一三番

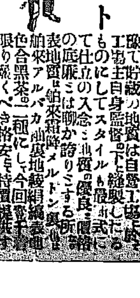
製粉工場賣却

一、場所　京城三坂町一〇三番地
一、事務室、倉庫、製粉工場
一、電話六四七番、製粉機械
其他附屬品一切賣却す

希望者は仁川支那町（復聚棧へ）

特價提供

●防寒用オーバーコート



◎定價三拾五圓也　二拾七圓也

但し頭巾付當御拵す　文曲尺　尺六寸

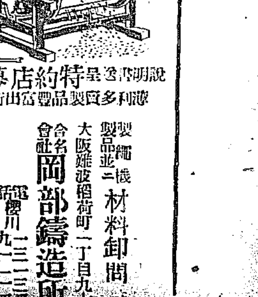
弊工場の地質は自營工場にて縫製したるものにしてスタイルも最新式にて仕立の入念と地質の優良とは聊か誇りとする所の底廉を極め本年度は舶來メルトン舶來アルパカ裏地綾絹縞裏地色合黑茶の二種にして今回限り數に限りあれば至急申込まれ度先着順に依り發送す御注文は小包にて代金引換或は前金御注文は送料不要（表地御見本は御一報次第贈呈）

東京淺草元鳥越町拾八番地

瀧本洋服裁縫工場販賣部

振替東京五四九九番

岡部式　稻麥扱機



說明書呈送　多利益　特約店募集　富豐品製造出荷迅速

鐵工部直營ニ付突飛安價提供ス

製鋼機　製品並ニ材料卸問屋

大阪難波稻荷町一丁目九七

合名會社　岡部鑄造所

電話櫻川一三三三番　振替大阪一九九六一番

慶安太平記

第三七席　小金井芦洲講演

一同が其れへ、見送りに出る不『どうもお邪魔仕りました定『私まで色々御馳走になりまして有難う存じまする　良『どうぞ途中お氣をお注け下さいませ定『左樣なら』と師井の門を出る　不『オヽ定助　定『ヘッ　不『大分路が泥濘るんで居るのう　定『左樣でございます、どうも惡い時分に降り出しましたんで、お戻りは何うであらうかと思つて居りましたが、丁度お戻りの刻限に雨が晴れましたんでまア之れだけは宜しうございました、不『さうだのう、然し其方も夜分所う遲うなつて氣の毒ぢやのう、歸れば酒代を遣はすから好め、酒でも呑んで氣を休めて呉れ…あゝ醉つたわい』と一步は高く一步は低く、蹌踉と千鳥足で丁度牛込の濠端へ差しかゝると、夜は既に更けて人跡は途絶えた折、定助が提灯を持つて傍の方から　定『先生さま、お危なうございます』と云ふその途端に、豫て刻限を計つて茲に待受け居たる村上新吾、今往き過ぎやうとする楠不傳を目蒐けて新『エイッ』と叫ぶ一喝諸共に三尺の秋水ヒラリッと閃いたと思ふ間もあらず、突然楠不傳先生の脾腹の邊へ突込んだ、總て人を殺める時には斬つて斬損じはあるが、突くには突損じは無いと豫て敎授を受けて居りました、それが確かに此場に應用されたので立派に役に立つた、敎へたその人の脾腹を敎はつた方がその通りにしたので妙な因緣づくです、脾腹を突かれて撓ごと其の場へ倒れたる楠不傳　不『ウーン、何奴だッ』と腰の邊へ手を掛たが既に刀を抜くだけのもう力が出ない　新『戀の遺恨思ひ知れッ』と言ふが早いか、今しも突いた刀を戻して又もやこの太刀で斬り付けたから楠不傳はそれなりけりに命を果したが、提灯を持つて一足先へヒヨイと運んだ中に此騒ぎですから下郎定助の驚きは一方ならない、定『コリャ猶豫はならぬ』と前へ轉けるやうにして、一心不亂になつて驅つけて來ましたのは市ヶ谷八幡町楠不傳の道場玄關先、戸板も破る、かと思ふやうなる叩きやう、ドドドッドンドン〳〵　定『タヽ大變が出來ました、タヽ大變なんで』多くの門人は何事も知らないが駒に一物ある民部之助正雪は今宵先生は不在であるから、毎晩のやうに自分の居間に籠つては居ない、玄關脇の小座敷へ出て諸家から入門の內弟子を相手に例の話上手に任せて自分の經歷談などと滑稽諧謔を交へて面白可笑く語つて、一同の者も大層愉快に聞き耳を引立つて居る所へ、玄關先にこの物音だ　○『何だッあの物音は…』○『定助の聲らしいが、定助か、何だ〳〵何事が出來したんだ　定『タヽ大變なんで唯今先生が逢坂下の所まで來られると、惡者が出まして殺られて仕舞つたんで、サア早くお出でを願ひます　○『コリや大變だ、若先生お聞きに成りましたか　正『オヽ承知した』我は直ぐに參る』と云ふが早いか飛出した、後の者も　○『若先生手前も參ります』×『私も參ります』と續いて飛出す、民部之助は韋駄天走りに駆付けて見ると二の太刀三の太刀で不傳先生は其場に倒れて居ります　○『恩師の敵覺悟をいたせッ』と言ふと突然後方から拔討ざまに斬付けたんだが、片ッ方は上新吾は人が駆付け來つたやうだが、この場へ來る人は民部之助が定めしお重ごのを連れて來て呉れたらうと思つて、ヒヨイと振向き樣へる途端に、『恩師の敵覺悟をいたせ』と突然斬込まれたのでよろ〳〵とよろッと後へ泳いだ。

きれいなお菓子の箱詰、組もの　明治町　電二八七〇　木村屋

聯將棋（四）

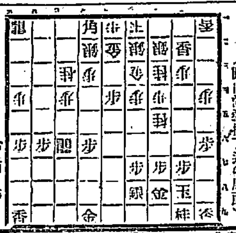
㋡津村兄弟商會　京城本町壹　電話一四八〇番　一八七〇番

於京城旭町白水樓　聯合將棋會席上

先手　△東軍　1 高橋章之助　3 天日常次郎　5 榎本一隆　7 有賀光豐

後手　▲西軍　2 滿呂木六段　4 櫻井秀雄　6 渡邊與次郎　8 馬詰次男

（圖は前號指了迄の局面）



持駒（▲西軍 步　△東軍 角步）

△五九金1　▲六六龍2　△七二角成3　▲五六龍4　△六一角5　▲五四龍6　△三六步7　▲四七桂成8　△同金1　▲三一玉2　△四六桂3　▲五五龍4　△五四步5　▲二二玉6　△五二角成7　▲同步8　△六二馬1　▲四五步2　△三四桂3　▲同金4　△五二馬5　▲四一香6　△三四馬7　▲五四龍（以下次號）

滿呂木六段講評

△3　四六桂の處六四桂と打つ手もあり

▲6　四一香の處六四角と打つ方含みありて面白し

內科小兒科 皮膚花柳科　永樂醫院　院長 今村純義　京城永樂町二ノ七 西本願寺前　電話一九四四番

十二月十一日（舊曆十一月二日）

▲土曜日▲癸卯▲三碧　宿▲女　▲暗劍東方▲赤口▲平

▲三碧▲過失なくさも恨まれ易く女子は特に行儀を守らるべし

▲四綠▲內にあれば相當の利得ある日文藝方面に吉出商內に利

▲五黃▲諸事中庸を得されば破れを來す遠くへの旅行は見合

▲六白▲自ら高ぶれば危く骨折損に終り易き日新しき計畫不利

▲七赤▲逆運の日なれば勢ひに乘じて妄りに進むは宜しからず

▲八白▲忠實に常業を守りさへせば安全の日思惑買は破れ多し

▲九紫▲大なる幸福廻り來る日女は行儀を守りて出世の緒を得

▲一白▲目下至難な事も此日順調に捗るべく逡巡は却て進んで吉

▲二黑▲頻りに財物の出たがる日短氣は友を失ふ因と知るべし

米國グドリッチ會社製
自働車及自轉車用タイヤ チューブ
自働車 三一×四、三〇×三半
自轉車 三〇×三、二八×三
在庫豐富
仁川海岸町 英商ベンネット商會

醫化學諸器械一式
藥種賣藥卸商
Ⓚ 北島藥店 仁川本町
北島藥店京城支店 京城本町永樂町角 電話三三四・振替京城六七番 電話七六一番

內科 小兒科
村上病院 京城永樂町一丁目（商品陳列館前） 電話六一三番
院長 醫學士 村上龍藏

競爭入札購買 朝鮮總督府遞信局
一郵便遞送車（大）拾八輛 外式點
詳細十二月十日ノ本府官報ニ在リ

貴金屬製作 時計眼鏡
糸岐商店 仁川本町 電話三七〇 振替京城七一二番

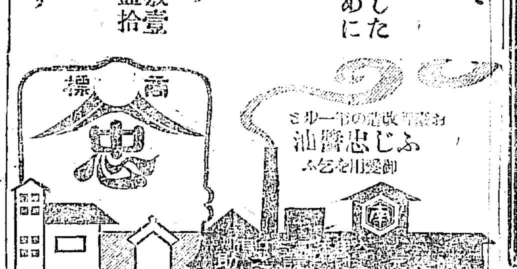
李王職御用 鐵道病院御用
模範全乳
東亞牧場 場主獸醫肥塚正太（電話五二番）

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害
製造元 嘉納合名會社 攝津灘御影町
發賣元 前田合名會社 京城本町二丁目廿番地 電話一三七番 振替京城二四五番

◎神經衰弱 ◎腦病 ◎精神病 ◎ヒステリー 專門（入院隨意）
福岡腦病院
福岡市外千代町（大學横） 電話二壹三〇番
▼汽車…吉塚驛 ▼電車…大學前 下車

第貳回全鮮釀造品品評會で
最高優等賞を頂きました
忠醬油が
御禮のために
景品付
大賣出しをいたします
景品 小樽（九升詰）壹挺ニ付風呂敷壹枚 大樽（三斗六升詰）壹挺ニ付アルミ皿拾五枚
期間 大正九年十一月二十日より同年十二月二十五日まで
特約店全鮮各地確實ナル店ニアリ



足袋王
つちやたび
光榮餘 [illegible]
年產 貳千五百万足
本社十二工場

BIOFERMIN
整腸消化劑
ビオフェルミン
本邦嚆矢の糖化菌含有乳酸菌製劑!!
整腸消化劑ビオフエルミンは有力乳酸菌に獨特の糖化菌を經驗に富める技術者に依り嚴密なる細菌學的作業の下に配合したるものにして、實に腸內澱粉消化作用を兼ぬるに有力なる腸內殺菌作用並に整腸作用を有するものなり、故に本劑は代表的乳酸菌製劑として左記疾患に對し盛んに應用せらる
（適應症）腸諸疾患、小兒腸疾患、綠便、腸消化不良、鼓腸
慢性胃腸炎、糖尿病、中毒性皮膚病、神經衰弱、早老
定價 三十瓦入 金九拾錢 百五十瓦入 金參圓九拾錢
五十錠入 金七拾五錢 百五十錠入 金貳圓拾錢
發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店
（文獻說明書進呈）

（一〇三）

處方を明記して其內容を公開せる
◎ミツワ家庭藥
製劑監督 理學博士藥學士 小平勳

特長
一、處方を明記して內容を公開す。
一、處方的確にして奏効顯著なり。
一、製劑精確にして効力一定不變なり。
一、藥品純良にして中毒の危險無し。
一、容器完全にして變質の虞無し。
一、內服藥は錠劑にして服用し易し。
一、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

◎ミツワ家庭藥の種類
ミツワ健胃錠　ミツワ消化錠　ミツワ制酸錠　ミツワ緩下錠　ミツワ止瀉錠　ミツワ解熱錠　ミツワ驅蟲錠
ミツワ淸涼劑　ミツワ解熱錠　ミツワ祛痰錠　ミツワ鎭咳錠　ミツワ結核錠　ミツワ人參錠　ミツワ複方人參錠
ミツワ婦人藥　ミツワ婦人坐藥　ミツワ鎭靜錠　ミツワ治淋藥　ミツワ痲疾洗滌液　ミツワ點眼液　ミツワ鼻病液
ミツワ齒痛液　ミツワ含嗽錠　ミツワ硼酸錠　ミツワ頭痛液　ミツワ殺蟲液　ミツワ養毛液　ミツワ腋臭藥
ミツワ[illegible]布　ミツワ[illegible]膏　ミツワ[illegible]膏　ミツワ[illegible]膏　ミツワ頑癬膏　ミツワ凍瘡藥　ミツワ痔坐藥

小山田醫學士編 家庭治療法（全一册） 郵券にて金五拾錢を拂込あれば進呈す

胃を健全になし食慾を增進せしむる
◎ミツワ健胃錠
主要成分（重炭酸ナトリウム、根皮、ゲンチアナ、次硝酸蒼鉛（詳細說明書記載））
定價 百錠入 金貳拾五錢 三百錠入 金六拾錢
適應症 食慾減退、食物停滯、消化不良、溜飲、噯氣、胃部膨脹、胃部壓重、胃痛、惡心、嘔吐、胃酸過多、胃弱、神經性胃病、急性及慢性胃加答兒
▼如斯人は◎ミツワ健胃錠を用ふべし▲
一、食餌の進まぬ人　一、消化の不良い人　一、食傷をした人
一、噯氣のする人　一、嘔吐のある人　一、胃部の痞へる人
一、胃部の張る人　一、胃部の重苦しい人　一、胃加答兒に苦しむ人

食物の蛋白澱粉及脂肪を消化吸收せしむる
◎ミツワ消化錠
主要成分（ヂアスターゼ、パンクレアチン等（詳細說明書記載））
定價 百錠入 金五拾錢 三百錠入 金壹圓參拾錢
適應症 消化不良、食物停滯、食慾缺乏、過食、胃加答兒、胃酸過多、胃弱、其他胃腸障害、貧血、榮養不良、病後衰弱等總て消化を促さんとする場合。
▼如斯人は◎ミツワ消化錠を用ふべし▲
一、食過ぎた人　一、食餌の進まぬ人　一、種々の病氣で消化の不良い人
一、胃部の痞へる人　一、胃部の張る人
一、胃部の重苦しい人　一、產後で衰弱して居る人　一、病後で衰弱して居る人

酒及菓子類に因る胃の諸症を治癒すべき
◎ミツワ制酸錠
主要成分（重炭酸ナトリウム、炭酸マグネシウム、硼砂末等（詳細說明書記載））
定價 百五十錠入 金參拾錢 三百錠入 金五拾錢
適應症 酒の惡醉、酒の過飲、宿醉、菓子類の過食、嘈雜、噯氣、溜飲、食慾缺乏、食物停滯、消化不良、惡心、嘔吐、吐瀉、胃酸過多症、急性胃加答兒等
▼如斯人は◎ミツワ制酸錠を用ふべし▲
一、酒に惡醉した人　一、酒を飲過ぎた人　一、宿醉した人
一、菓子など甘い物を食べ過ぎた人　一、嘈雜のする人
一、溜飲の起る人　一、食慾の無い人　一、噯氣のある人

瀉下作用緩和確實にして腹痛を起さゞる
◎ミツワ緩下錠
主要成分（カスカラサグラダ流動エキス、複方甘草散等（詳細說明書記載））
定價 三十錠入 金拾五錢 百錠入 金參拾錢 三百錠入 金七拾錢
適應症 常習便秘、胃腸病、腦病、神經病、心臟病、肺病等より來たる便秘、其他便秘一般。
▼如斯人は◎ミツワ緩下錠を用ふべし▲
一、便秘が烈しくて 頭痛のする人 食慾の無い人 腹部の張る人
一、常習便秘の人　一、緩和な便通を得たい人

下痢就中過食寢冷等に因る下痢を止むる
◎ミツワ止瀉錠
主要成分（次硝酸蒼鉛、タンニン酸アルブミン、沈降炭酸カルシウム、龍膽エキス、コロンボ根末、大黃根末等（詳細說明書記載））
定價 三十錠入 金貳拾五錢 七十錠入 金五拾錢
適應症 過度或は不良の飲食又は腹冷より起る下痢、急性傳染病以外の諸痢より起る下痢。
▼如斯人は◎ミツワ止瀉錠を用ふべし▲
一、飲過ぎて下痢する人　一、食過ぎて下痢する人
一、腹冷して下痢する人　一、下痢して腹の痛む人
一、下痢して腹の鳴る人　一、裏急後重に苦しむ人

全國到る處の藥舖其他にて取次販賣す。最寄に取次店なきときは本舖より直送す（郵券代用不苦）。取次販賣頗る簡易、副業として最も確實適當。規定及發賣品目錄申込次第送呈。
振替貯金口座東京七一〇　ミツワ石鹼發賣元　東京橋町　丸見屋商店

らず市況は益々悪化し地方有力商人中に[illegible]倒産の悲運を暴露せむとする氣勢あり農産界は不作な[illegible]

[illegible]賣行鈍く只醸造界は稍活氣を呈し[illegible]せるも金融逼迫のため材料其他工[illegible]の商內を見るに[illegible]の新規商談杜絶の狀態[illegible]止り大口の[illegible]

[illegible]途益々不安を感じ遂に[illegible]物殺到し爲に相場[illegible]比し綿絲は四十圓[illegible]

砂糖 [illegible]地相場の下落と內地有力筋の投[illegible]

燐寸 [illegible]相立直りの氣配を呈せしも大勢下落に因り[illegible]

紙類 財界の不況及[illegible]の狀態に在て[illegible]四五百斤あるも商談捗々しからず又[illegible]

獸皮 內地在荷拂底の報傳へられ若干思惑買を爲したる筋ありしも何等[illegible]

天氣豫報 晴
氷點以下五[illegible]下十五度內外にて昨朝より一段に四度內外下降したり大陸高氣壓は明日も尚變化なかるべく[illegible]

出廻激減
全南の棉花

久しき混亂商状の裡にありし綿絲界は去月末稍安定の曙光を見るに至り綿價上騰の傾向を示しつゝありしが其後米印兩棉花の下落傾向にあると銀塊低落より來る輸出の梗塞と內地需要の一段落等內外事情の悪化せしため月末再び慘落を告げたり從て木浦棉花相場の如きも月甫一等棉實高十四圓より月央十七圓に至騰せしが月末十四圓臺に低落し出廻り遲々として振はず即ち本月二十日迄に至る道內棉出廻高は二百十八萬餘斤價格二十七萬四千餘圓にして前年同期の五百十八萬斤價格百七十八萬千餘圓なりしに比し數量に於て四割價格に於ては僅々一割五分に充たざるの不況を呈し居れり（朝鮮調査）

安東取引創立
大田氏理事長に

株式會社安東株式商品取引所の創立總會は八日午後四時半より公會堂に於て開會諸般の議事進行役員は理事長太田秀次郎、常務理事山下五郎、理事杉原佐一郎、中野初太郎、藤田駒吉、森田平作、大原精逸、高橋源二、北村雄夫、監査役荒川六平、尾崎潤、橫江重助、牧山耕成、鶴樂堂諸氏に決定したり（安東縣電報）

東京週末金融

週末に於ける東京交換所組合加入銀行帳尻左の如し

預金	十六億九千三百萬圓
前週對比	三百萬圓增
貸出	十八億二千九百萬圓
前週對比	五百萬圓增
手許有高	一億六千二百萬圓
前週對比	二百萬圓增

○日銀帳尻　六日現在左の如し（千圓單位）

發行高	一、二二六、六八四
正貨準備	一、一二〇、〇〇〇
發行餘力	二〇〇、〇〇〇
貸出高	一九四、四二一

○鮮銀券日報　八日現在左の如し

發行高	一〇一、八五六、〇六二
正貨準備	五三、一一五、二〇〇
限外發行	……

○京阪金利　八日現在左の如し

	東京	大阪
コール	……	……
無條件	一、二〇	……
翌日物	一、一〇	五、〇
立日物	二、〇〇	……
普通歩合	二、七〇	……

財界閑話

八日京取後場の相場の波瀾は鳥渡未來の見物だつたが▲餘り動くので立會中止說を唱ふる向もありイザ重役へと階上に駈け登れば▲天日專務は仁取重役會へ御出席又釘本社長は電氣の問題で京電へ行つてゐた▲矢張り責任のある役員が一人は常に市場に居らねばいけぬ▲但し八日後場の相場を不穩なりと云ふわけではない唯八日の例から見て今後の變に備へて欲しいのだ▲九日解約問題が起つたとか起らぬとか云ふ何とか片をつけぬと此儘では怪我人を出すばかりだらう▲かうなると十五日の期限が永すぎはせぬかと云ふ話になる▲初めから旨く行くものではあるまいから研究の上改むべきは改むべしだ

株式（休會）
前場立會延刻

九日前場は前日の波瀾歩股相場に買方の追證並に其他精算金合計四萬圓に達し市場は之れが追徴に忙殺され一方賣方仲買に於ても客筋よりの追證意の如く集まらず遂に帳簿整理上午後二時迄立會を延刻するに至れり

立會不能

今前場は帳簿整理の爲午後二時迄立會延刻を發表したるも其後解合談意外に紛糾して双方の主張に少からぬ懸隔を生じ午後四時に至るも尚ほ解決せず遂に本日は立會不能に終れり今の場合賣方側も地方の客筋より漸次正株到著しつゝある模樣なれば總解合は稍至難なるが如く目下折角協議中なり

解合談起る

前日本紙が逸早く報道せし如く京取の連續高に伴ひ喰合玉は日に增加して一萬四千以上に達し賣方は此の正株を如何にして引渡すか若し途中崩落の兆候あれば兎に角然らざれば相場は天井知らずの暴騰を演ずべしと警告したるが果して今朝賣方の追證未納に立會延刻となりたるより對手方の內兜を見透かしたる買方は益々强氣となり此分三十圓以上に買進むも資金に窮し居る賣方に損托しなしとの氣勢を示し

內氣は早くも三十圓臺を唱ふ

るに至れるより若し此の儘立會を繼續せんか意外の怪我人を出す虞れありとし一部有志は賣買兩者間に調停の勞を取り此の際棒値を定めて解合ひしては如何との議起り夫々協議中なりしが此の稿締切迄は未だ何等解決するに至らざりしも多分圓滿に落著すべきか

現在の喰合玉

八日後場現在の受渡未了京取喰合玉は一萬四千百十枚に達し之れを假りに二十五圓替に算定せんか實に三十五萬二千七百五十圓の代金となるなり今其の內譯を示せば左の如し

（買方）池田一三〇▲吉井一九〇▲吉見二六二〇▲塚野六〇〇▲大島四八〇▲櫻谷九五〇▲川崎四六四〇▲新田三五一〇▲南三七〇▲稲六〇〇

（賣方）有田三五〇▲洪九三〇▲金留二八八〇▲高松一四〇▲田中三九三〇▲方五六〇▲古閑五〇▲三好三〇▲中津留二九〇▲金秀四六九〇▲近藤二六〇

綿糸の將來と株式
▼北濱見聞記▲

大株に對する一般の人氣は今一つ勝の乘らざる丈け本月の株式も依然として紡績株就中鐘紡中心の波瀾を持續すべく鐘紡中心の波瀾を持續する限り矢張或程度までは綿糸市場の狀況如何に左右せらるゝものと觀るを至當とせん然らば綿糸の現狀や如何と云ふに輸出不振と內地の需要亦捗々しからざる近況が悲觀說を一面原棉は商急反撥を期待する向もありて將來の需給關係を觀察するに材料の不良により三百圓臺へ復活してポン／＼昇騰するものと想はず一面銀塊の底入來たし豫想せらるゝ材料に依り推せば二百七十八十圓の時價を保ちなるべく此の上惡觀し得ざる事情あれば所詮三百圓の關門に押寄する事ならんか綿糸價格を主體とする紡績株に對する觀測も之に準じて被存して然らば紡績株に對する見方も其の手心を加へ行くこと必要ある可く而して相場は既に戰前相場に接近して

底入模樣ありし銀塊も四十三片臺となり今日の生產費は五十片內外にありといへば是れ亦弱氣側の豫想せる如く此の上低落の餘地多からず何時出直り足に轉ずるも知れずさも限らざれば油斷する能はず而して綿糸市場に於ける弱氣側は今日の糸價を現實悲觀說の仕手相場にあらずんば春高見越の理想に囚はれたる人氣相場なりとし且つ過去好況時の如く賣買筋は未だ先走の買を爲すの勇氣と餘裕なければ愈必要に迫られたる上ならでは買出さゞるべし品の拂底に促されて漸く躍機し居れる一般織物界の現狀は此の間の事情を最も雄辯に語り居れり從て今日の春高買は眞の需要期たる明年三四月に入る以上失望して賤氣を起し投げ崩すの期到來するならんと唱へ居れり併しながら既に先高人氣の旺盛となれる市場は愈々需要の起る時まで平然たるべき筈なく十一限を受取りたる石井は十二、一の兩限も受取るべき決心を有し其の頭金として約二百萬圓の現金を準備し居れり之れが爲め市中の浮動品吸收せらるべきを以て少しく內外の需要起らば綿品薄となり活氣橫溢すべき樂みありといふべし尤も目下賣方の主力はメノ及び東洋棉花にて其の力侮り難きも相場師としての腕力に於ては石井に匹敵し得ず大勢上の達觀に於ても到底石井の敵にあらず勝敗の數既に定まれりといふも決して過言にあらざるべく左れば今後綿糸安にて更に紡績株の人氣惡化するも夫は一時的なるべく又既報の事情にて買方の強氣を將長し上旬は安しとするも其の程度深からざるべく尚ほシ國特糸は本月中に處分し切れざることなり之れを悲觀する向あれど殘品は全部委員間に於て分割引受けを行ひシ國を解散するに內定し居れる由に候

ならば材料と相場の一致する時即ちかゞ落ちの時であらねばならぬ▲時に材料に先走り時に材料に遲るゝ相場の興味は蓋し此邊にあるのだらう

初相場豫想
懸賞募集

初立會（一月四日）

- 京取株　前場寄附値段 並に大引値段
- 仁川期米　前場三月限一節公定値段

右豫想を募集す其條件左の如し

適中者 各圓につき一名を限り金五圓宛を贈呈す適中者なき時は最も近き者を取り多數を出したる時は抽籤を以て定む

應募 は葉書一人一枚限り（但し兩圓連記差支へなし）

一、締切は十二月廿五日（本社著分まで）
一、發表は大正十年一月七日
一、應募者は住所姓名を明記する事
一、宛名は京城日報社經濟部
一、條件に反する者は之を取らず

京城日報社經濟部

ガタ落か、踏上げか

▲材料から觀て下げるが當然の相場の下げ足ふる底意の頑强さを恃みとした買方も愈々出でて愈々不良なる四圍の事情に少イ氣が持てなくなり休日後の投げ安を見た形勢よりすれば休日前の相場は今一般の惡化を見せても文句のない處イヤ見せねばならぬ筈であつた▲何を買ふかと云へば今に財界は安定するだらうと云ふ漠然たるものを買ふの外何物も無く四圍の不況が痛切に買方の身に沁みて來るのである順序であるからどうしても一ト下げなくて叶はぬ筈である▲然るに七錢氣味に惡ろい程共割に相場は下からない矢張り何處にか下げたくないと言ふが如き强味が潛んで居る▲物價の下落が一般的となり不景氣が世界的となつて內外を問はず悲觀材料に充ち滿ちて何に一つ樂觀すべきもない程に悲觀す可き材料の底なく高くなる相理材料の惡觀事情も現在逆行は步からぬ皮肉を感ぜしめる逆行は果して現下の値頭が現在相場の上から觀た强返しの材料を消化し盡くし結果とするならば込んだ祟りは常然歎派が受けねばならぬ理由である▲反して空漠たる强氣の自己本位の理窟に依つて形成された現象である

東京現株特電

銘柄	九日前場	八日後場
鮮銀	一一〇、五〇〇	一一〇、〇〇〇
同新	三三、七〇〇	三三、〇〇〇
東拓	四八、〇〇〇	四六、五〇〇
同新	一三、〇〇〇	一二、五〇〇
滿鐵	一〇二、〇〇〇	一〇一、〇〇〇
同新	一八、〇〇〇	一六、五〇〇
殖銀	四三、〇〇〇	四二、〇〇〇
同新	一二、〇〇〇	一一、〇〇〇
東株	一一八、五〇〇	一一六、五〇〇
連取	三七、〇〇〇	三六、〇〇〇
滿毛	一三、五〇〇	一二、五〇〇
朝紡	一三、〇〇〇	一二、〇〇〇
滿紡	二一、五〇〇	二〇、五〇〇

三高松商會
京城本町二丁目 喜樂館東隣
電話長三〇八五 二六〇六
現物 實株 賣買 兼 定期 取次

大阪株式特電

銘柄	九日前場寄付	八日後場大引
大株	一一〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇
郵船	一三八、〇〇〇	……
同新	……	……
商船	六七、九〇〇	……
同新	……	……
鐘紡	二三八、九〇〇	二三六、一〇〇
同新	二二六、九〇〇	二二四、六〇〇
東紡	一一三、九〇〇	一一三、五〇〇
東糖	六九、九〇〇	……
上取	六三、三〇〇	六三、四〇〇

銘柄	九日前場大引	九日後場寄付
大株	一一〇、八〇〇	一一一、六〇〇
郵船	一三八、〇〇〇	一三八、一〇〇
同新	五三、五〇〇	……
商船	六七、五〇〇	六八、〇〇〇
同新	……	……
鐘紡	二二七、二〇〇	二三八、九〇〇
同新	二二六、一〇〇	二二八、〇〇〇
東紡	……	……
東糖	七〇、七〇〇	……
上取	六三、八〇〇	六四、〇〇〇

大連株式特電

○八日

		寄付	止め
連取	當	三五、〇〇〇	三四、五〇〇
	先	三五、四〇〇	三四、九〇〇
東實		……	……

安東株式特電

○八日

		寄付	大引
安取	當	一六、一〇〇	一六、一〇〇
	先	一六、三〇〇	一六、四〇〇

出來高　三〇〇枚
中限止め　二十三圓八十九錢
先限止め　四圓二十五錢

○九日

		寄付	大引
安取	當	一六、三〇〇	一六、三〇〇
	先	一六、四〇〇	一六、二〇〇

米況（八圓臺）

仁川期米
九日前場

前日引跡大阪止め二十四圓二十八錢の手堅き移りに今朝は人氣變らず當中出來ざるも先十七圓八十五錢と變りなく寄付きたり▲二節 大阪寄四十錢臺を早耳せるも中五十錢と始め翁の買ひに更に五錢と進みしかば先九十錢に始め丸安の優勢買に五錢と縮り目先手詰めに仲惱みしも大阪跡五六十錢を突越げしが戻りは賣物漸次に溜み買方奮田の剛り伸力添はざるより㊥の目先手詰めに七圓九十錢と押し㊂㊥の防戰に七錢と縮り近頭なき混戰に引き㊂⊕克く買ひ八圓丁度と突破けて▲第三節 當八圓九十錢中ヵ十五錢と手堅きに先八圓丁度と始め更に〇六錢と買方の活動に躍騰せしも戻り賣りの防戰猛烈に忽ち七圓七十八錢と押へられ八圓丁度と採合ひに引▲四節 當出來ざるが中五十五錢先七圓九十九錢より五六錢を採合ひ引▲第五節 當出來ず中五十八錢先九十六錢より二錢と大阪の小甘き移りに下辿りて引▲第六節 當中出來ず先九十一錢より八十七錢と押し八錢と頭重く大引せり

期米雜觀

師走に入つての相場は仕手の氣が纏握か自然相場の働きも失れて急ぐ氣味がある其の急ぐ相場に乘じて急ぐ向が多いとも云ふのだから寄が儲けて急ぐ向が多いと云ふが急ぐの向が張りだ▲と云ふ譯で折角乘つて見る利益も損切りも小なる微にならぬ傾向となつて乏しい折柄小揃ひの商內を試みるもマア好いと云ふ程度で安値から五十六丁返しの十七圓以上八十錢處は好き呼吸戾しと見たのか是れが賣物は一段と各店から現れる！其の割り相場は一向崩れない▲崩れ位いなら未だしも逆上的に買れば買ふ程固くなつて居る掛合ひのあるのは一種ドナシたの逆轉を氣遣つて居る

後場愈䟦り

當出來ず中八圓六十一錢
出來高 十三萬七千石

▲第一節 當出來ず中八圓六十錢寄先八圓〇五錢と十七丁高に寄付▲第二節 當十九圓中八圓六十八錢より七十錢引公定六十八錢先八圓一二五錢より〇九錢の安値ありしが二十錢を高値に十八錢引公定二十錢

	八日後場				公定値段					九日前場				平均値段						氣配値段		
	寄付	止値	高値	安値	一節	二節	三節	四節	五節	寄付	止値	高値	安値	一節	二節	三節	四節	五節	六節	當限	中限	先限
	七、七〇	七、八二	七、八五	七、六五	七、七〇	七、七一	七、六三	七、八五	七、八六	七、八八	七、八五	七、八六	七、八五	七、八〇	七、九〇	七、八六	七、九九	七、八〇	八、九	八、五〇	七、九〇	七、七〇

各地正米相場（八日後場）

地名	
水原	一等米二圓格上げ
同	二等米一圓八十錢格上げ
鎭南浦	三等米一圓二十錢より八十錢の格上げ
仁川	三等米一圓十錢格上げ
辰山	三等米二十錢より同格
群山	三等米三十五錢格上げ
仁川	三等米三十錢格上げヨ
輸出	三等米同格
平陽	三等米六十錢格上げ
海州	三等米三十錢格上げ
鎭南浦	三等米二十五錢格下げ
仙掌	三等米二十五錢格下げ
鳥山	三等米三十錢より八十五錢の格下げ
南市	[illegible]

東京正米小締る

東京正米は今朝二十錢高を告げたり尚大阪も三五十錢高を報じ各地共れ〈氣締り模樣にあり

各地產米と格付

鼓一兩日中に發表の運びとなれる仁川米豆取引所大正十年度の標準米及び本年度より六十及至七十丁位上格品を持つて建米となす模樣なるが之れに就き審査部に於いては各地の產米を米商組合に委託して判米を集め右標準米に對する格付審査を行ひし處左の如く格付けを見るに到れり

興味ある爭奪戰
一萬四千餘石と三萬石の纏り玉の小一萬石を楯に其勢力頗る侮り難し

頃日來より十七圓七十八錢擱みに上げ下を操返し硬軟双方共活躍の際きも鎬いつゝありし折柄今朝突然地の上破れをも移したれば買方一派の活動は目立ち小口軟派の弱氣も喚起せんと見込みにて堀締を試みる煎物を前途安心見越せるもの軟派は容易に退かざるのみか飽迄殲平的に買迫み入圓の關門爭奪に勇を振ひ何れも地が頑として强硬を示させば筈方は鳥合の勢なる大結局買方に地盤を寂さるゝや計り難し

激戰期近づく

阪地の高報を移せるも當市場は共割反應鈍き氣味あるを如何にせん軟派の逍退き少なき折柄反つて軟硬の勢力は向の多さかと云ふ商に前場に至り三萬五千石を超過せるさ共に喧嘩の種は益々增大せんとする機合ひありさ之に對する買方は飽迄㊂㊃の小一萬四千餘石と三萬石（三の纏り玉を楯として寶入氣を一掃せんとするに反し軟派は㊦を先頭に如何にもあれ三、四の手方他四十五四軒の難平的強味を以て一萬圓臺に乘せんとし賣方他四錢を保つ處に堅く、硬化の激烈を極めんとす

京城穀物延取引

近來京城市場の氣配は㊂㊃の取引擧よりし乘せる樣に感じ貳萬餘な俤を買ひ一萬石を以て當限に乘せた方が寧ろ安全だと云ふ事が夫れ大阪七錢では利盆が少いの買ひ玉の勞で愈々市場も是を一步と取引されて居る共處へ此の七八錢を摑み込んだが遂に賣にさへなれば好き戻りも見られて居るが此の七八錢の摑んだは儲けの筈で此の上どう買つてよいか迷は素人の憂へ騷ぎ云へば好き戻りも見られて居るが何にせよ今度の一萬圓は好んで買ひに乘る事にならぬとも限らない

京城穀物延取引

玄米 昨朝迄の買人氣一掃されて居るも昨日の高値引を見やりて今朝は引續いで人氣强がりしも雖此邊は默して居の立直りなるや否や疑問にて買埋ても頭數に乘せるべきを可とし上り足に逆向けんとするも手を持つに過ぎず直分の高值に乘せ易きも十一月五錢方も頭重く三錢前後に賣れし十錢前後の付出しに爰にて一月末限十九圓の賣れ方に十五錢方有り最初は當限よりも先に手を持つ事を保存の頭が相當以上に安き跡見ての出來あり限たるのみにて打止めたり

大豆 內地筋は既報の如く高値は買氣配にて鈍付し雖買付の値唱ふるも面白からざるが共引の手持不足だけ出合して現物は值頃買狙ひ沙々ならぬ向き朝は全倉二十五六錢を以て寄付き二東鐵標物直積九圓六十錢にて一東

仁川正米市場

九日前場

一等米　二十錢高
二等米　三十錢高
三等米　四十錢高

▲ 仁川正米 [illegible]

糯弱持合ひ

糯は既報の如く內地安に氣配軟弱なりと雖も米所は出來高等時の高値物を買入れ既に準備せしも向き多きが如く取引捗りにして卸の倍に買ひ入れ手持を中頭分上買建を處えんとせるしも買物取引ありて一も二十三圓押し半ば戾り乍ら目下二十錢を持ちたり一方白米は㊂に二十錢高を唱へ居れり

期米雜觀（續）

[illegible]

仁川正米市場

產地出廻り減少併柄阪地よりは白米注文亦も入込み來れる爲め手持筋買腰強く氣配は引締まり內地の三等米は二十五錢高に當り [illegible]

釜山正米特電

納税期迫り出廻り盛分北商を見越したるが產地出廻り強く內地相場は日本向けに高値を誘ひ [illegible]

二三四十錢高

群山正米特電

出來不申

京城正米市場

相は其後續て廻著あり昨今河筋其他に一萬石內外を取寄せる倉庫少なからず在荷さしては最早確かに十萬石を超し居りさの說なるも目下買物は其割潤澤ならず殊に期米の高値に買手を一齊にさ各地正米高移りを高め人氣を萎め自然人氣を高め來れる掛合ひにて今朝は四五十錢高の三等合格二十圓二十錢地掛上玄十八圓五十錢連十七圓五十錢見當を唱へられたるが將來の外手控へ模樣を氣構へ必需口の外手控へ模

取組高

	白米	玄米	大豆
十二月中	一、一〇〇石	………	一、八〇〇石
十二月末	一、〇〇〇石	………	三、六〇〇石
一月中	………	三、八〇〇石	一、〇〇〇石
一月末	………	………	………

特白　百石
一月十五日渡　二、三〇〇

玄米百石 一月十五日渡　一九三〇

玄米三百石一八九五▲百石一九

前場商內

十二月二十五日渡出來不申
一月十五日渡出來不申
一月末渡 玄米三百石 一九、一五
八日後場商內
根入値段十九圓十五錢

大阪期米特電

○九日前場

	寄付	止め
當限	……	二三、[illegible]
中限	……	二三、九〇
先限	……	二三、八〇

二節 二十三圓九十八錢
三節 二十四圓十四錢
四節 二十四圓〇五錢
五節 二十四圓六十四錢
六節 二十四圓十八錢

下關期米特電

○九日前場

當限 二三、七〇
中限 二三、五三
先限 二三、二五

○九日後場

當限 二十四圓三十九錢
中限 二十四圓三十六錢
先限 二十四圓七十四錢
二節 二十四圓五十四錢
三節 二十四圓九十四錢
四節 二十四圓九十九錢
五節 二十四圓九十九錢

東京期米特電

九日前場先限
寄付 二三、八九
二節 二三、九〇
三節 二三、八一
四節 二三、九〇

各地期米特電

○八日後場止め

東京 二三、四六 ／ 大阪 二四、二八
兵庫 二四、一〇 ／ 下關 二三、〇一
桑名 二三、四六 ／ 名古屋 二二、六九
熊本 二三、六〇 ／ 金澤 二三、二一

大阪三品特電

○九日前場寄付

	前場寄付	前場大引
十二月限	二四〇、〇〇	二四三、〇〇
一月限	二四〇、五〇	二四五、〇〇
二月限	二三六、五〇	二三九、〇〇
三月限	二三三、〇〇	二三六、〇〇
四月限	二三〇、〇〇	二三三、〇〇
五月限	二二八、〇〇	二三〇、〇〇

○九日後場寄付

	後場寄付	後場大引
十二月限	二四八、〇〇	二四二、〇〇
一月限	二四九、〇〇	二四三、〇〇
二月限	二四五、〇〇	二三九、〇〇
三月限	二四二、〇〇	二三六、〇〇
四月限	二四〇、〇〇	二三四、〇〇

橫濱生糸特電

九日前場
當限寄付 一五二〇、〇〇
先限寄付 出來不申

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
黃金町 電話八七三
大正館

當る十二月十日より公開
大寶映
○寶萬歲 ▲大正十五年 ▲二分の三 ▲本樂器 ▲二分の三 ▲十三分 ▲大阪一大一[illegible]
□新派 悲劇 乳屋の娘（全六卷）
□人情劇 奮鬪の好機（全五卷）
□舊劇 惡七兵衞景淸（全七卷）
說明者 竹本國太 宮島保 石原琴外 兒島星月 山田 [illegible]

第壹回當籤番號

壹等　壹九貳
貳等　壹貳七七
參等　九八壹
四等　參四參

本町七丁目 電話七八五
壽館

黃金館

當る十二月十日より
歲暮特別大興行
日活東京派新撮影
新派活劇 火中の美人
大冒險猛烈歌劇 虎の足跡（全三十一卷）
石田旭花獨演
日活第一部特別製作 松翁勇士の巨人
豪傑漫遊 戶田新八郎（全七卷）
松扇合同劇封切

直營 喜樂館

ケラフ式イダイアプラム氏監督
△歡樂の影（全七卷）
△劇 眞田漫遊記（全五卷）

新派悲劇 湖畔の小鳥（全五卷）
本町一丁目 電話九七番 有樂館

火中の美人（全五卷）
虎の足跡（全三十一卷ノ內）
戶田新八郎（全七卷）

浪花館

明治町 電話一六〇番
當る十二月十日より開演
▲忘年演藝會
演藝種目 一落語、笑劇、輕業、奇術、輕口、落語掛合、舊劇

浪花座

本町五丁目 電話二八番
當ル十二月十日より
前狂言 敵討曾我
大詰 赤穗山より中村出立之場
切狂言 赤穗義士傳 赤垣源藏

新作純映畫
歡樂の影（全七卷）

九日より
名畫來!!!

湖畔の小鳥（全五卷）

舊劇 眞田漫遊記
黃金館

歲末大賣出

十二月十日ヨリ
三十一日マデ

歲末に際し平素の御愛顧に酬ゆる爲め注文部より多數の精良なる地質を引拔き御注文品と少しも變らぬ既成品を

數百着

特製致しました即ち

トンビ 表霜降メルトン、スコッチ、ラクダ裏アルパカ絹サテン普通四十五圓內外 上六十五圓內外 特八十五圓內外

オーバー 表ラクダ、色スコッチ、霜降メルトン裏アルパカ普通四十五圓內外 上六十圓內外 特八十圓內外

セビロ 表紺サージ綿スコッチ霜降メルトン普通四十圓內外 上六十五圓內外 特八十圓內外

小供マント 表黑ラシャ綿スコッチ 普通十二圓內外 上十八圓內外 特廿五圓內外 右二尺四寸です寸法に依り高下あり

右の忠實なる定價より更に 五分引 で提供致します

陸續御來店を

京城南大門通
丁子屋洋服店
レデーメードストア

棹尾の活躍

曙(あけぼの)

德田秋聲
(挿畫)近藤紫雲

第十五回

歸朝 (4)

『いや』と、文平は圓いぷく／＼したような顔をつるりと撫でて、『飾り結構でもなからうが、まあ此女に居てもらへば、今迄のように出入りに不自由をしなくても濟むしと、然う思つてな、俺も外にゐて大きに働き易いと、まあ云つたような案配でな。幸ひと、絢子も氣が適ふようだから、此女の爲に家内に風波が起る氣遣ひもあるまいと思ふて、其點は十分お前にも安心して貰はんければならん』

『はい』辰衛も眞面目に應へて『其事は絢からも聞きましたが、私も其方が反てよからうと、然う思ひます』

『何分不束者でございますから、お氣に召しますまいでせうけれど、萬事宜しくお願ひ申します』

先刻から何か口を利きたさうに、二人の顔ばかりまじ／＼と見比べてゐたお須磨は、此時漸と口を入れて、慇懃に辰衛に挨拶をした。

『私こそ、どうぞ』と、辰衛は卒氣なく、些つと頭を下げた。

『どうだ、お前は食事は濟んだか』

『は、實は久し振りで御一緒にと思ひましたが、お起しするのも何だと思ひまして、お先に失禮しました』

『あ然うか、それは殘念だつたな。今晩歡迎の意味で一家打揃つて一杯やらう』と、文平は起上りながら『ぢやまあ俺は勝手にやるとするで、お前も自由に休むが可い。外國の談も後でゆつくり聞かう。貞子もな、此頃は大分面白くなつて來たで、家も大きに賑やかになつたよ』

『貞實にお可愛くてゐらつしいますから』お須磨もお愛想を言ひ／＼、辰衛にお辭儀をして、文平の後に尾いて廊下へ出ながら、

『ちと、どうぞお話にいらして下さい』

『は、後ほど……』辰衛も起つてお辭儀をしたが、お須磨の眼に色氣をもつたような眼を不快げに避けて顔を外向けた。『如何云ふ身分の女だらう？』辰衛は考へるともなく考へながら、默と其後を見送つた。

『氣のせゐだか、おやぢまでがどうも前とは變つてるよ』然う獨語ちながら、部屋へ入つて、ほんやり莨を喫してゐるところへ、絢子が入つて來た。

『どうも失禮しました。貞子を寢かし付けてゐたものでございますから』

『もう寢たのか』

『は、今朝は何時もよりか早く起きたもんですから』

『時にあのお須磨つて女は、どんな女だい？素人ぢやあるまいな』

『奈何してでございませう？』と、絢子は重々しく顔を上げて『そんな事はございませんでせう。氣立ても可い、如才のないお方ですわ』

『お前は人が好いからな、直ぐ無條件で他人を受容れる雅量をもつてるが……』

『まあ』

『どうも變だよ』些つと首を傾げて、『まあ、しかし家内が無事で行つてれば、それに越したことはないがね』

『ね、それあもう』と、絢子は新しくお茶を淹替へながら、『私、ほんとにあの方がいらしてから荷が輕くなつて、喜んでをりますのよ』

『それはさうと』辰衛は話を轉へて、『先刻も些つと言つたんだが、お前は何か體でも惡くはないのかい？顔色も晴れ／＼しないが』と、熟々と妻の心持ち蒼白い顔を見た。

『いゝえ、別にそんなことはございませんの』絢子には術なさうに直ぐ俯目になつた。

『また何か實家の負債のことでも氣にしてゐるんぢやしないかね』

『いゝえ』

『其事なら餘り心配しないが可いよ。何とか父がするだらうから』

そこへ、乳母のお德が、辰衛のところへお客が來たことを報したので、辰衛は起上つた。

有効確實ニシテ賞讃ヲ博セル マラリア特効丸 定價 金貳拾錢 參拾錢 五拾錢 壹圓 壹圓五拾錢 表 龍山元町二丁目 製劑本舗 林藥房

五の日十の日會句

九、一一、三〇 披講

○披翀
船大工が力任せ冬の晴天
家めぐり稍鶴が月の十五夜の冬
○黄丘
溫突の焚口の根こぎ置く枯菊
○麥哉
霜朝の背戸を踏まず
なんの屈托もなく冬木の中を通つた
○秋風嶺
鰯ぐたし／＼に積る雪師走らし
裸木をゆるがし青天の鴉が飛んだ
○一二郎
竿一と筋月光の冷ゆるある屋根
山を下る女足袋の消ゆる山
○浮碧樓
冬川のせゝらぎよわけもなく人家が離んだ
○邑角子
枯草燃しさる音に過ぐる
陽よ大寒の畑へりの氷が濁る
土固めの女等が辨當の焚火するよ
○眞敏
女を交へた勞働の踏んだ霜解、
師走の山根をめぐり額面の温味
○不孝郎
旅籠の私の、部屋の炭火の匂ひ
時雨の高笑ひが堂こだまするぞ
○鳥堂
支那人に冬夜鳴かされてゐる蛩だ
枯草踏む子は父のあと追はうとせず

川柳

劍花坊選

女

○大邱 邱花坊
女權論下女與樣の味方をし
丑の時などに參らぬ女權論
○大連 丸長亭
桃割に結ふても耶蘇を拜む也
落籍した妓生この頃こした心
○京城 喜天坊
鼻眼鏡チャームされたをきつい味噌
○新義州 新坊
色町に親孝行を歌はれる

新刊紹介

▲作物品種改良要諦（補蜂洋氏譯）諸種の工藝原料の品質向上並に産額增加に關する一大能因たるべき作物の品種改良に就ては歐米では一般に在つても既に常識として其の概要を知られてゐる今日、遺憾ながら我國では知識階級の一部專門家以外殆と顧みるものとて誰も多く知られてゐない、譯者が本書を公にしたのもそれを歎いたがらのことである、原書は米國シカゴ大學教授コールター氏の著、一々作物の圖版まで挿入し說明は微に入り細を穿つてゐる、正に之れ見逃すべからざる良書であらう（三圓東京府下西久保柴田書房）

▲釜山港（非賣品） 港灣及其の設備、貿易、交通運輸の三部に分類して說くに悉く精確にして最新の材料に依らざるはない、口繪も地圖も統計も亦我が山の地理と現勢を教ふる無二の羅針盤である（釜山稅關監視所）

▲當用日記（大正十年） 日々の記入欄の整頓してゐるは無論のこと附錄には家庭信仰趣味其他一通りの智識を刷り込んだ殊に卿や音樂やの極めたあたり可なり周到な努力の跡が見ゐる、四六版形上製（一圓二十錢東京本所區外手町ライオン齒磨本舗廣告部）

▲鐵道日記（大正十年） 地圖や統計や其他日々心得べき重要事項を附錄として參考せしめ専ら鐵道從事員用として編まれたもの背皮小形（一圓東京京橋區來女銀道時報局）

▲婦人畫報（十二月） 未亡人問題の題下に高島平三郎、山田わか、高島米峰氏等の所說を虛榮の心理と題し上野陽一氏の通俗平易且親切な興味ある說明、其他婦人問題や家庭問題や小說など必讀の有益な讀物で充たされてゐる（七十錢東京京橋區疊町東京社）

▲婦人界（十二月） 難病全治號として凡ゆる難病に對する豫防法や療法や全治した經驗談やを滿載し一大私立病院たるの感がある（四十錢東京京橋區疊町東京社）

▲東京醫報（十二月） 二十錢京城黄金町共社

▲朝鮮貿易月報（大正九年八月） 朝鮮總督府編纂

▲考へ方（十二月） 四十錢東京神田駿河臺鈴木町共社

說あらん

▲內地から來た人も來た人も感想談は皆內鮮同化です朝鮮に居る貴い人々も皆同化を叫ばれます、して見れば內鮮同化は餘程重大な問題ですが所が內地から來た人等は南山々下の內地人許りの所に宿られます、鮮人町に浮いた心で妓生を騷ふ時位しか來て見れません而して同化を叫ぶ有識の方等は矢張り南山々下に軒を並べて居る許りです、鮮人町に宅を構へた大官も聞きません、此れでは同化は叫ぶだけですが酒家が臭いの鮮人町は汚いのと缺點を並べて居ては同化にはなりません同化は先づ生活の同化からです（平凡生）

▲帝國藥學育兒會地方行商部と稱し太鼓を叩いて哀れな文句を各自に半節程宛辱ついで最後にどうぞ一品なりとお買ひ上げ下さいと粗惡な石鹸と粗末な齒刷子を殆んど押賣り的に行商して步行く一團がありますがあれば警察で許可したものですか婦女子ばかりの家では甚だ迷惑して居ます（困つた生）

▲曹洞宗別院臨八接心會の記事は一般何と云ふ支離滅裂な迷文でせう何れ別院か誰れかの投書でせうがいくら不立文字か禪家の標語でもあれでは何のことやらサッパリ僕らないじやありませんか生中わかりもせぬ癖に禪僧ぶつてかくからいけないのです（平壤の一信徒）

小夜衣草紙

▲小夜衣草紙 式亭三馬作
▲百手枕 田水金魚作
▲戀の出雲 爲永春水作
▲戀の花染 自笑山人作
▲男女川草紙 笑亭樓山人作
合本 目錄

全篇彩るところ、濃艶なる當時の情緒を最も大膽に、最も露骨に描出した江戶人情本の白眉・原本は何れも絕版物で容易に手に入れ難き珍書言はぬが花の内容は讀んで初めてニッコリ首背給ふべし。

五卷合本四六判裝幀大和綴頭選 無比振替か爲替なら密封送料共金一圓六十錢切手代用は一圓七十錢 五錢代金引換小包は一圓八十錢

●比翼開名記入先著申込百名を限り古代式木版摺極彩色美人粹畫進呈

▲東京市神田區表猿樂町廿一番 トモエ文庫 振替東京四二一九

京日案內 番外

レール 十二磅 中古品 貳哩 至急買却す希望者は左記へ 京城永樂町二丁目 電話二四七 榮洋行

▲高給社員採用 希望者は履歷書持參午前中來談 京城黄金町二丁目 太平火災海上保險會社駐在所

求住宅向賣家 但し旭町壹貳丁目の內又は附近約五十坪位のものを望む 姓名在社

簿記係 男女ネ一名 店員 一名 右青年ヲ望ム履歷書携帶本人至急來訪アリタシ 京城明治町二 叶商會

官廳拂下品 机 箱類 其他 大安賣

但し十二月十二日まで 南山町本願寺下 堀運送店

春川行に貸切自動車 京城黃金町二丁目百拾五番地 電話八三三 京江自動車商會

朝鮮料理 海東館 光化門郵便局ノ東門隣リ 電話五八六番七二五番 宴會席階上階下五百八收容

貸倉庫 市內青葉町荷車付 建坪三十坪 構造完全 古市町 電話一八二番 熊野商會

陸送 方面 春川、利川、忠州、堤川、原州地方行運送取扱 丸江運送組 京城水標町 電話二四五九番

北海産栓原木 新入荷安價提供 京城古市町 電話一八二 材木商 熊野商會

產婆 私事此度大島方を辭し左記で開業致しました 耳數願ます ▲黄金町三ノ二九一 若草町停留場前 取次電話二（九一） 平野操

求教授 尋高卒業後病氣ノ爲中學ノ受授相不叶一年試驗問迄豫習サセタシ 敎授被下方ナキヤ（晝夜不問）恐縮ナガラ御一報願ヒ度候

南大門驛前 笑福旅館 電話一五五一番 岩崎

有田ドラッグ

りん病 ばい毒 特別八円 並三円 特別四円 並二円 送料十二錢 請合藥

◎淋病藥主藥は治淋劑とし梅毒藥主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定し歐米醫科大學帝國大學病院等にて賞揚配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈

◎あらゆる治療を盡すも効なき患者は兎に角一度來談あれ

本舖 東京 東京日本橋通四丁目 大阪 大阪心齋橋筋本町 有田音松

發賣所 京城南大門外電車通 有田ドラッグ

朝鮮專賣所 長電話二五六七 振替京城四六七 有田ドラッグ

鮮滿專賣所

京城黃金町電車通 全鐘路十字街 龍山三角廣場 釜山辨天町二丁目 群山東榮町 木浦榮町 元山本町二丁目 平壤道廳正門向 鎭南浦三和町 仁川宮町二丁目 大邱停車場通 咸興本町二丁目 晋州大安洞 安東縣市場通 長春城內大馬路 奉天松島町

滿洲專賣所 大連岩代町磐城町角 有田ドラッグ

に せドラッグあり 注意 有田ドラッグ 有田音松製を有田ドラッグにて買取あれ

商業登記公告

共立倉庫物產株式會社（支店設置）

一、商號 共立倉庫物產株式會社

一、本店 鳥致院面鳥致院里

一、支店 忠淸南道燕岐郡鳥致院面内里參百八番地 京畿道振威郡平澤里壹百八拾五番 忠淸北道清州郡淸州面本町參丁目參番地

一、目的 倉庫業、物品輸出入並ニ委託販賣業、運送、保險代理業、精米業、倉庫內貨物ニ對スル金融業、製材並ニ建築材料販賣業

一、設置ノ年月日 大正九年九月參拾日

一、資本ノ總額 金百萬圓也

一、各株ニ付拂込ミタル金額 金貳拾五圓也

一、株式ヲ為ス方法 株ノ會社ノ公告スル新聞紙ニ揭載シテ之ヲ為ス

取締役ノ氏名住所

忠淸南道燕岐郡鳥致院面鳥致院里貳百貳拾七番地 福永太郎
同道同郡同面同里壹百九拾壹番地 今村德重
同道同郡同面同里貳百參拾九番地 西村傳三
同道同郡同面同里武百五番地 大平康喜
京畿道京城府本町五丁目 久保田政吉
忠淸南道燕岐郡鳥致院面内里百四拾壹番地 中村再造
四道同郡同面同里四拾九番地 二宮久一
監査役 忠淸南道公州郡公州面本町參百貳拾壹番地 外山卯三郎
同道同郡同面鳥致院里百拾八番地 竹下朝助
同道同郡同面燕岐郡鳥致院面鳥致院里八拾六番地 飯田廣助
忠淸北道淸州郡淸州面清水町六番地 吉原治三郎

會社ヲ代表スヘキ取締役ノ氏名 永井太郎

存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿參拾年

大正九年十二月七日登記

京城地方法院 平澤出張所

請負公告

一、龍山三角地消防所新築工事

右來ル十二月十一日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ

京城府

五分引

十二月中現金二圓以上御買上に限り正價より割引す
但し商品切手麥酒淸涼水ミルク及卸部には適要せず

賞テ便利ナ共通商品切手
西洋酒罐入箱入 角砂糖
洋菓子罐入箱入 紅茶コヽア
キブドー紙箱入 粕漬 各種
ビスケット各種 各種 罐詰
葉卷エジプト賣 化粧品類
海苔 風湍 漬 食器類

南大門通三丁目 青木堂支店 電話四一一番 電話四〇一番 電話四二一番

ヘルメスウヰスキー

古い古いヘルメス！ いゝにきまつてる！ どなたも！ うまい！うまい！ トおつしやる！

角瓶もあり 丸瓶も

LACTOSTASE

整腸常備藥 ラクトスターゼ

說明書あり進呈す 粉末、錠劑の二種 各種有名藥舗にあり

ラクトスターゼはメチニコッフ博士の長壽說に基きたる乳酸菌製劑にして、現今腸疾豫防、治療劑として盛に其應用を見る、之れ蓋し本劑は腸内腐敗を防止し、之に原因する諸症に有效なるの事實明確となれるによる。

ラクトスターゼ適應症 腸の疾患、腎及肝の諸症、腸内生產毒素の吸收等に因する皮膚病、神經衰弱、貧血早老、動脈硬化、蛋白質含有食品多食の要ある諸症等。

本社 東京日本橋區室町三丁目
出張所 大阪淡路町・臺北府後街
三共株式會社

NEOMILCHIN

乳汁分泌催進藥 ネオミルヒン

無乳產婦に對し本品を內服すれば乳腺を刺戟し乳汁の分秘を旺盛ならしむ、而かも本品に因る乳汁の增加は啻に水量のみならず蛋白質及び脂肪含有の量を增す。（壹瓶百瓦入金參圓）（解說書送呈）

發賣元 大阪道修町 株式會社 塩野義商店
東京出張所 日本橋區本銀町三丁目九

汽車發著

[illegible]

日本郵船出帆

大連 天津 牛莊行 高砂丸 十二月 日 正午出帆
濟州丸 十二月 日 正午出帆
花咲丸 月 日 午前出帆

共同汽船出帆

第二共同丸 十二月 日 午後 出帆
芝罘 大連行

尼崎汽船出帆

群山、木浦、下關、神戶、大阪行
赤城丸 十二月 日 後 時
一心丸 十二月 日 後五時
陽江丸 十二月八日 後 時

互光汽船出帆

元山、西湖津、新浦、城津、清津行

朝鮮郵船定期

釜山出帆（取扱店吉田運輸）
清津丸 十二月十三日 大阪
京城丸 十二月十九日 江口
穩城丸 十二月十一日
神寧丸 十二月廿一日
會寧丸 十二月十六日
立山丸 十二月十一日
釜山丸 十二月十六日

釜山出帆（取扱店大池回漕店）
新義州丸 十二月十二日 大阪
京畿丸 十二月十一日
成鏡丸 十二月十三日
會寧丸 十二月十四日
全羅丸 十二月十九日
金海丸 十二月十八日
咸鏡丸 十二月九日
櫻島丸 十二月二十一日

木浦出帆（取扱店山野回漕店）
新義州丸 十二月十二日
公州丸 十二月十三日
慶尚丸 十二月十一日
成鏡丸 十二月十九日
平安丸 十二月十五日

仁川出帆（取扱店堀回漕部）
新義州丸 十二月十一日
平安丸 十二月十三日
全羅丸 十二月十一日
盈德丸 十二月十七日
江原丸 十二月十九日
櫻島丸 十二月十七日

大阪商船出帆

群山木浦大阪行 十二月 日 後四時出帆
石見丸 十二月 日
長良川丸 十二月 日 後四時
南浦行 十二月 日
天智丸 十二月 日 正午出帆
釜山門司宇品神戶大阪行 十二月 日 後九時出帆
宮島丸 十二月 日 後十一時
上海基隆行 十二月 日 正午出帆
基隆丸 十二月 日
歐洲行 一年四回 北米行 毎月一回 南米行 一年四回 濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月一回
印 御注意 乘船客本船出帆前に御乘船被下度候
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二一〇番 二五〇番
京城 仁川 内國通運會社支店 仁川本町 電話 切符發賣所 荷扱所